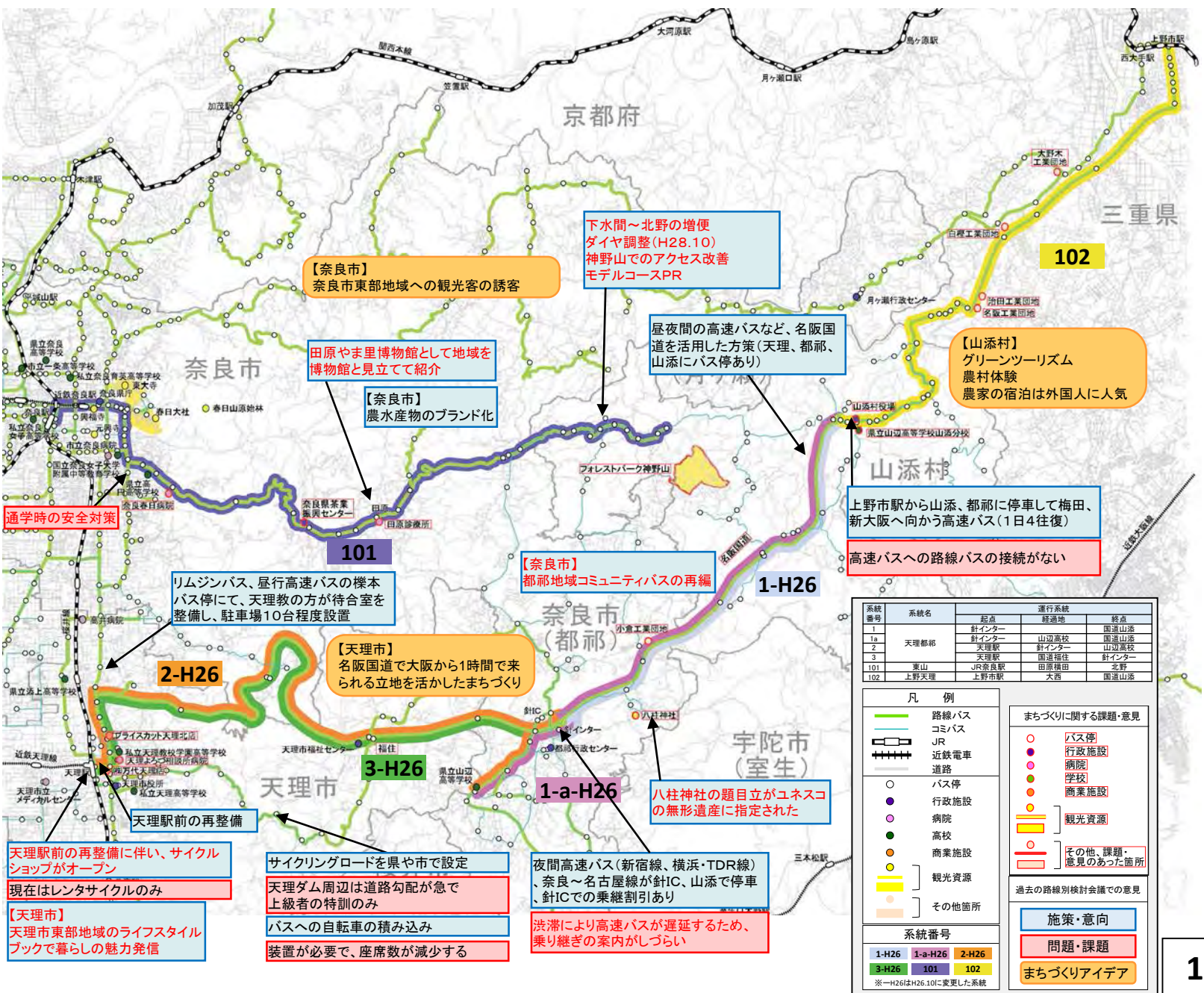


路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	グリーンツーリズム等への観光による誘客 地域住民の広域移動の際の高速バスへのアクセス確保
関係市町村	奈良市、天理市、山添村
主な沿線施設	奈良駅、近鉄奈良駅、樺本駅、天理駅、上野市駅、奈良県庁、天理市役所、奈良市都祁行政センター、山添村役場、市立奈良病院、奈良春日病院、天理よろづ相談所病院、奈良女子高校、奈良女子付属中等教育学校、高円高校、添上高校、天理教校、学園高校、天理高校、山辺高校、山辺高校山添分校、東大寺、興福寺、元興寺、春日大社、春日山原始林、八柱神社、フォレストパーク神野山、道の駅針T・R・S、 <b>田原やま里博物館</b>
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)                      出勤: 49.4%(H22)⇒49.4%(H32) 登校: 92.0%(H22)⇒92.0%(H32) 通院: 43.3%(H22)⇒43.3%(H32) 買物(平日): 45.1%(H22)⇒45.1%(H32) 買物(休日): 28.1%(H22)⇒28.1%(H32)                      業務: 31.0%(H22)⇒32.7%(H32) 観光: 60.7%(H22)⇒63.7%(H32)</p> <p>■外出率: 79.2%(H22)⇒79.2%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]                      天理都祁線: 43,643人(H26) ⇔ 奈良市都祁・天理市東部・山添村: 40,961人(H26) 上野天理線: 17,010人(H26) ⇔ 山添村: 3,768人(H26) 東山線: 39,376人(H26) ⇔ 奈良市東部・奈良市都祁・山添村: 17,340人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]                      奈良駅: 6,403,195人(H25) ⇔ 奈良市中部・奈良市東部・奈良市都祁・山添村: 181,852人(H25) 近鉄奈良駅: 11,487,343人(H25) ⇔ 奈良市中部・奈良市東部・奈良市都祁・山添村: 181,852人(H25)                      天理駅: 3,541,060人(H25) ⇔ 奈良市東部・奈良市都祁・天理市・山添村: 85,215人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)                      奈良駅: 94.8%(H22)⇒94.8%(H32) 近鉄奈良駅: 94.2%(H22)⇒94.7%(H32) 天理駅: 82.0%(H22)⇒82.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

<b>事業①</b> 針T・R・Sを拠点とした広域移動の検討 実施内容 針T・R・Sを拠点とした、路線バスや高速バスを利用した広域移動について検討 実施主体 奈良市、山添村、奈良交通、三重交通 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑥</b> ノンステップバスの導入 実施内容 天理都祁線、東山線にノンステップバスを導入 実施主体 奈良交通 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3
<b>事業②</b> 新たなコミュニティバス運行の検討 実施内容 国道山添から名張駅までのコミュニティバスの運行を検討 実施主体 山添村、東豊地域コミュニティバス運行協議会 実施効果 公共交通利用者数の増加・交通空白地の解消 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑦</b> 鉄道駅バリアフリー化 実施内容 天理駅に内方線付点字ブロックを設置 実施主体 近畿日本鉄道 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H29. 4 ~ H33. 3
<b>事業③</b> 観光客の誘客に向けた交通確保の検討 実施内容 奈良市東部地域への観光の推進について検討 実施主体 奈良市 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑧</b> 全国ICカード共通化 実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体 奈良交通、三重交通 実施効果 利便性の向上 <b>済</b> 実施期間 H28. 4
<b>事業④</b> 通学交通確保の検討 実施内容 高円高校・山辺高校・山辺高校山添分校への通学手段の確保 実施主体 奈良県、奈良交通 実施効果 公共交通利用者の利便性向上 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑨</b> 公共交通の利用促進 実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果 公共交通利用者の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3
<b>事業⑤</b> 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、天理都祁線、東山線、上野天理線の路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)	<b>事業⑩</b> 都祁地域コミュニティバスの再編 実施内容 都祁地域の小学校統廃合に伴うスクールバス、コミュニティバスの再編 実施主体 奈良市 実施効果 地域公共交通の維持・効率化 実施期間 H29. 4 ~ H30. 3



系統番号	系統名	運行系統	起点	終点
1	天理都祁	針インター	山辺高校	国道山添
1a		針インター	山辺高校	国道山添
2		天理駅	針インター	山辺高校
3		天理駅	国道福住	針インター
101	東山	JR奈良駅	田原福田	本野
102	上野天理	上野市駅	大田	国道山添

凡例	まちづくりに関する課題・意見
路線バス	バス停
コミバス	行政施設
JR	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	その他、課題・意見のあった箇所
病院	
高校	
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

系統番号	1-H26	1-a-H26	2-H26	3-H26	101	102
色	青	紫	黄	緑	白	赤

※1-H26はH26.10に変更した系統

### 実施事業

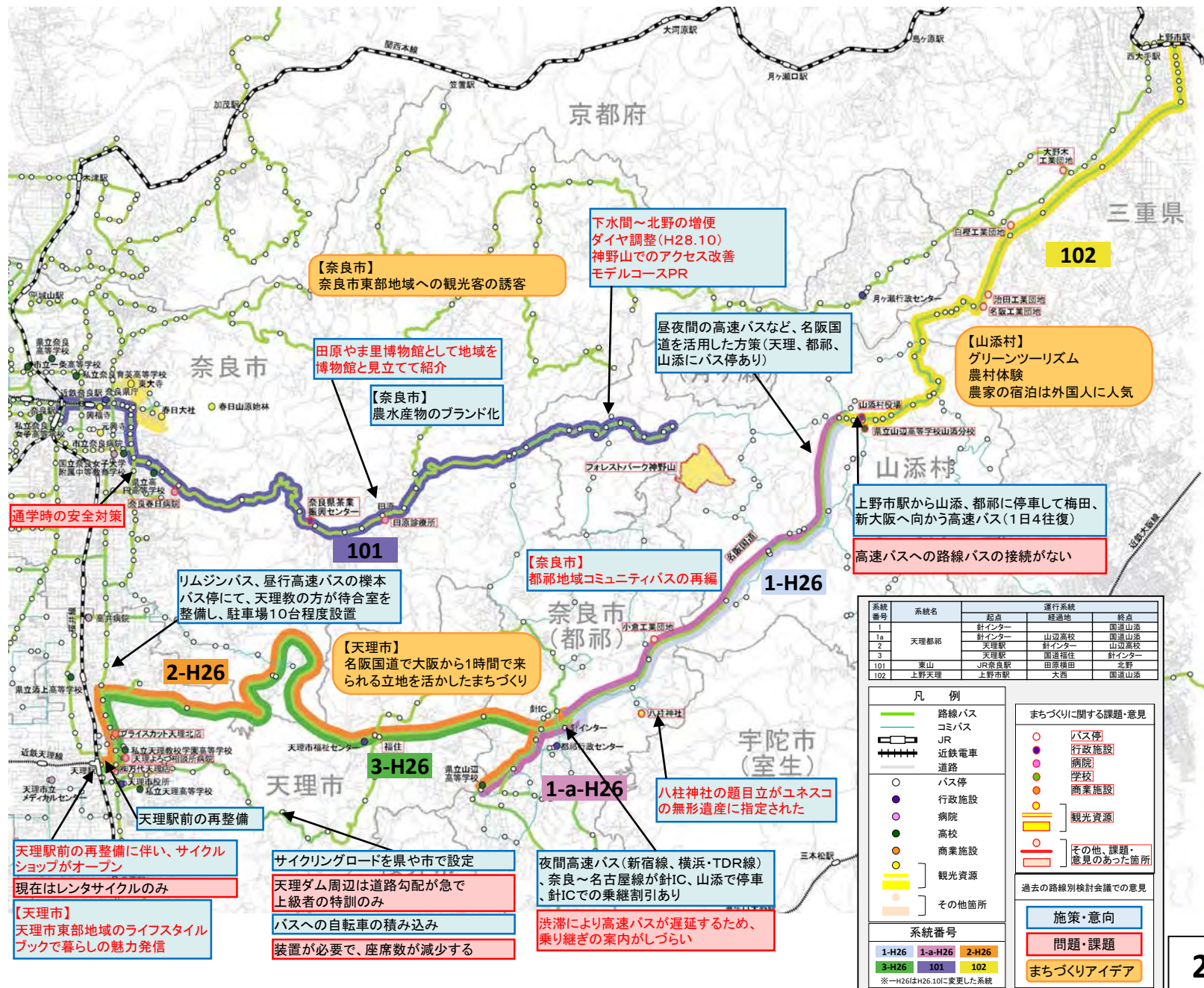
事業⑪	地域公共交通ネットワークの再編の検討
実施内容	東山線を基幹とした地域公共交通ネットワークの再編を検討
実施主体	奈良県、奈良市、山添村、奈良交通
実施効果	運行の効率化
実施期間	H29. 4 ~ H30. 3

事業⑫	路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 12 ~ H30. 3

事業⑬	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑭	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄奈良駅、JR奈良駅、東大寺大仏殿・国立博物館、県庁前、春日大社表参道、天理駅、憩いの家病院外来棟へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑮	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄奈良駅、登大路バスターミナル、県庁玄関ホールへのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3



系統番号	系統名	運行系統	経路
1	天理都祁	針IC	針IC
1a	天理都祁	針IC	針IC
2	天理都祁	針IC	針IC
3	天理都祁	針IC	針IC
101	東山	JR奈良駅	針IC
102	上野天理	上野市駅	針IC

凡例	まちづくりに関する課題・意見
路線バス	バス停
コミバス	行政施設
JR	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	高校
病院	商業施設
高校	観光資源
商業施設	その他、課題・意見のあった箇所
観光資源	
その他箇所	

系統番号	系統名
1-H26	1-a-H26
2-H26	3-H26
101	102

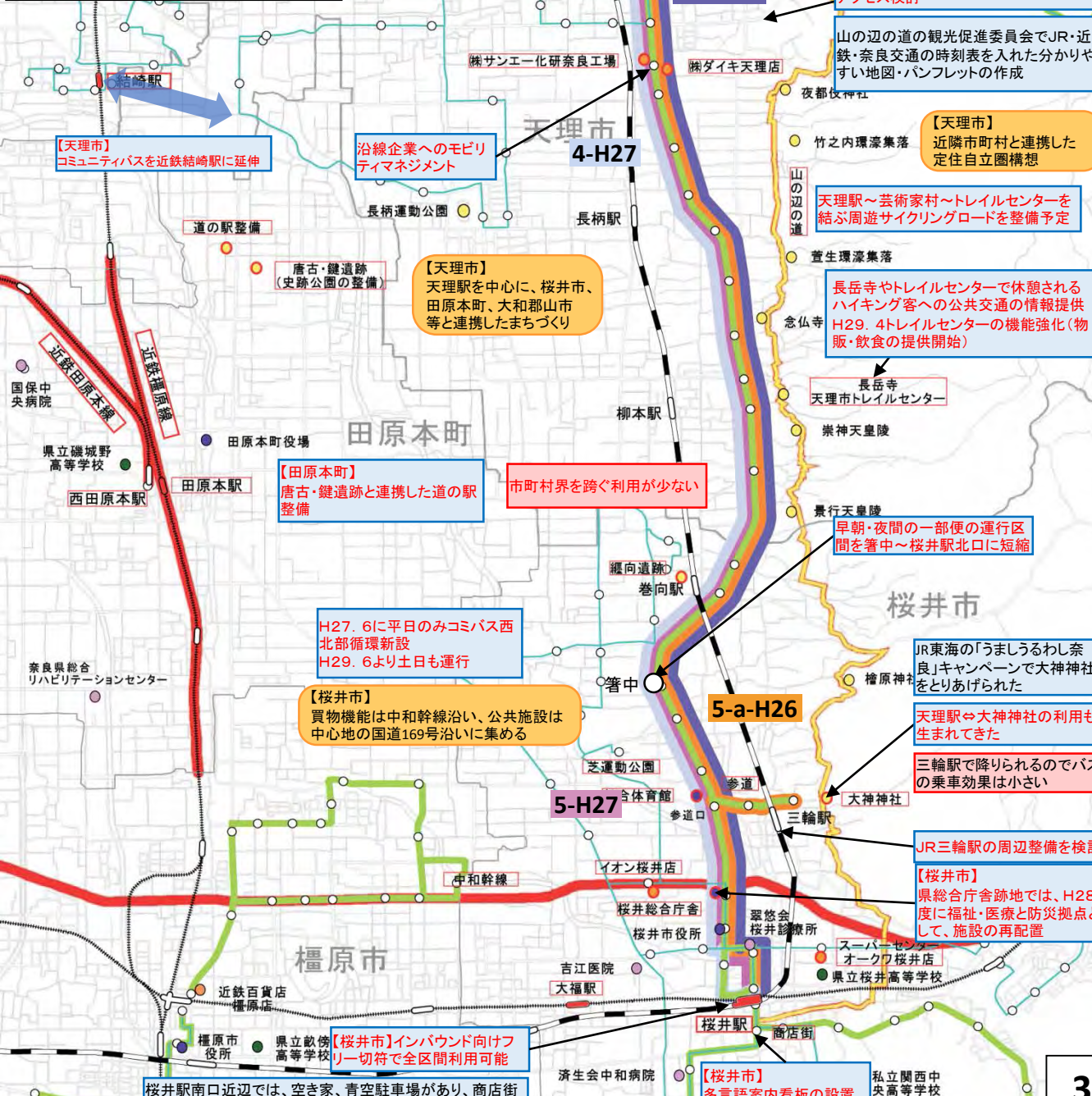
※1-H26はH26.10に変更した系統

### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「山の辺の道」への観光による誘客
関係市町村	天理市、桜井市、三宅町、田原本町
主な沿線施設	天理駅、巻向駅、三輪駅、桜井駅、大福駅、天理市役所、桜井総合庁舎、桜井市役所、天理市立メディカルセンター、天理よろづ相談所病院、済生会中和病院、天理大学、天理教校学園高校、天理高校、桜井高校、関西中央高校、山の辺の道、石上神社、念仏寺、天理市トレイルセンター、長岳寺、崇神天皇陵、景行天皇陵、纏向遺跡、大神神社、芝運動公園
評価指標	<b>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 出勤: 31.4%(H22)⇒31.4%(H32)      登校: 93.4%(H22)⇒93.4%(H32)      通院: 35.5%(H22)⇒35.5%(H32) 買物(平日): 29.1%(H22)⇒29.1%(H32)      買物(休日): 15.3%(H22)⇒15.3%(H32) 業務: 22.3%(H22)⇒22.3%(H32)      観光: 41.0%(H22)⇒41.0%(H32)
	<b>■外出率: 77.9%(H22)⇒77.9%(H32)</b>
	<b>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</b> 天理桜井線: 78,286人(H26) ⇔ 天理市・桜井市: 125,867人(H26)
	<b>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</b> 天理駅: 3,541,060人(H25) ⇔ 奈良市東部・奈良市都祁・天理市・山添村: 85,215人(H25) 桜井駅: 4,116,514人(H25) ⇔ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村: 72,106人(H25)
	<b>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 天理駅: 82.0%(H22)⇒82.0%(H32)      桜井駅: 79.6%(H22)⇒80.3%(H32)
<b>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</b>	

### 実施事業

<b>事業①</b> 公共交通の情報提供拡充の検討 実施内容: トレイルセンター等、ハイキング客への公共交通の情報提供箇所・手法の検討 実施主体: 天理市、桜井市、奈良交通 実施効果: 公共交通利用者数の増加 実施期間: H28.4 ~ H33.3	<b>事業⑤</b> 鉄道駅バリアフリー化 実施内容: 天理駅に内方線付点字ブロックを設置 実施主体: 近畿日本鉄道 実施効果: バリアフリー化の促進 実施期間: H29.4 ~ H33.3	<b>事業⑨</b> 沿線企業モビリティマネジメント 実施内容: 沿線企業へ通勤行動についてバス利用への転換可能性把握及び働きかけ 実施主体: 奈良県、天理市 実施効果: 路線バスの利用者増加による路線の維持確保 実施期間: H29.2 ~ H33.3
<b>事業②</b> 観光客の誘客に向けた交通確保の検討 実施内容: 路線バスを使ったモデルコースを設定してPR 実施主体: 天理市、桜井市、三宅町、奈良交通 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28.4 ~ H33.3	<b>事業⑥</b> 全国ICカード共通化 実施内容: SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体: 奈良交通 実施効果: 利便性の向上 <b>済</b> 実施期間: H28.4	<b>事業⑩</b> (仮称)奈良県国際芸術家村へのアクセスの検討 実施内容: 天理市仙之内地区に整備が検討されている(仮称)奈良県国際芸術家村のアクセスの検討 実施主体: 奈良県、天理市 実施効果: バス利用者数の増加、来訪者増による地域活性化 実施期間: H29.4 ~ H33.3
<b>事業③</b> 路線運行費補助 実施内容: 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、天理桜井線の路線運行費を補助 実施主体: 奈良県 実施効果: 地域公共交通の維持 実施期間: H28.4 ~ H29.9(毎年PDCA)	<b>事業⑦</b> 公共交通の利用促進 実施内容: 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体: 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果: 公共交通利用者数の増加 実施期間: H28.4 ~ H33.3	<b>事業⑪</b> 天理桜井線の再編 実施内容: 昼間の運行区間を憩の家病院まで延伸するとともに、早期・夜間の運行区間を箸中～桜井駅北口に短縮 実施主体: 奈良交通 実施効果: 公共交通利用者数の増加、利便性の向上、運行の効率化 実施期間: H29.10 ~ H33.3
<b>事業④</b> ノンステップバスの導入 実施内容: 天理桜井線にノンステップバスを導入 実施主体: 奈良交通 実施効果: バリアフリー化の促進 実施期間: H28.4 ~ H33.3	<b>事業⑧</b> インバウンド限定周遊切符の発行 実施内容: インバウンド向けに周遊切符を作成し、英語版マップとあわせて、観光案内施設等で配布 実施主体: 桜井市 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28.11 ~ H29.9	



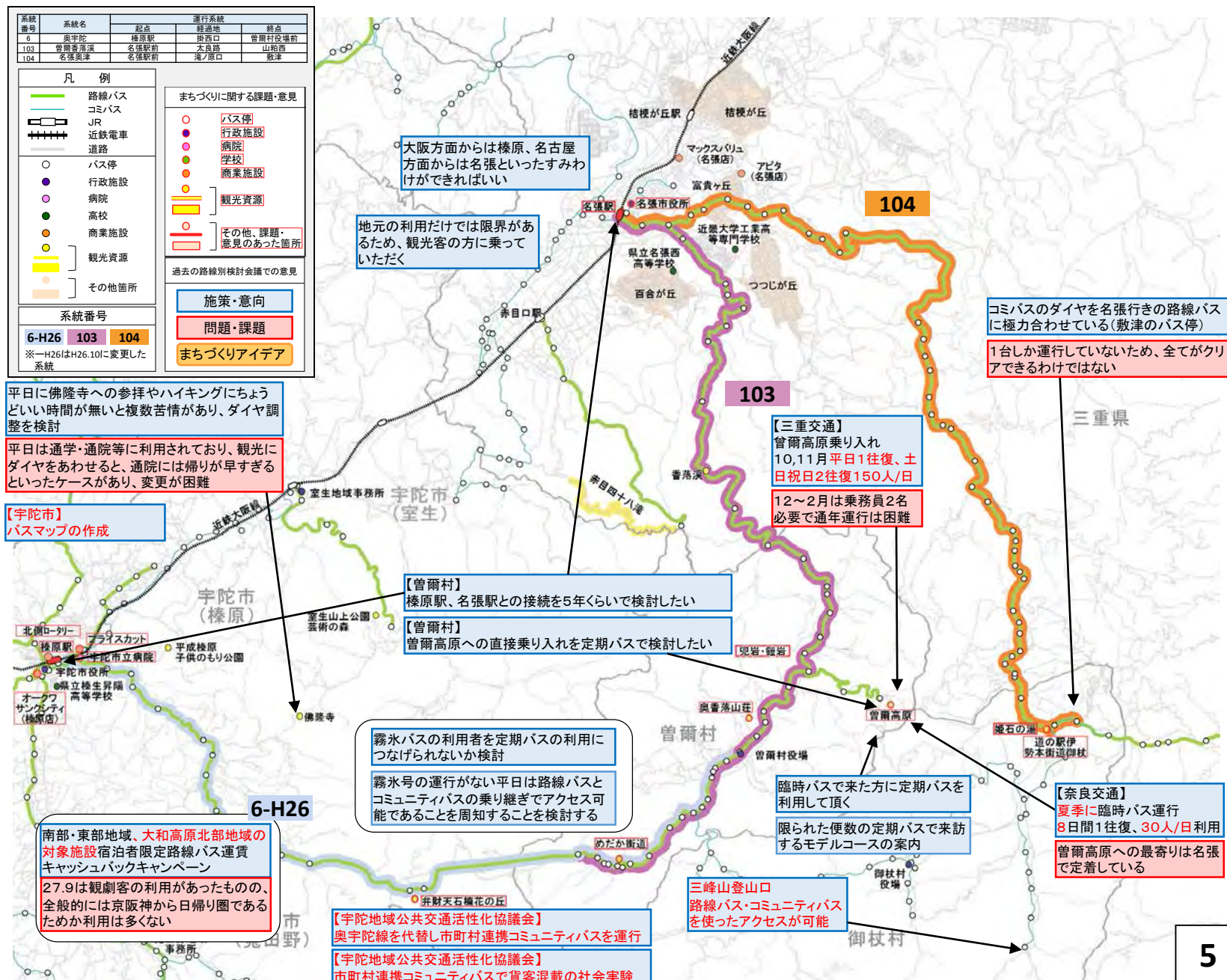


### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「曾爾高原」を中心とした観光による誘客
関係市町村	宇陀市、曾爾村、御杖村
主な沿線施設	榛原駅、名張駅、宇陀市役所、曾爾村役場、名張市役所、宇陀市立病院、榛生昇陽高校、名張西高校、近畿大学工業高校、仏隆寺、奥香落山荘、赤目四十八滝、曾爾高原、姫石の湯
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 24.5%(H22)⇒24.5%(H32) 登校: 86.4%(H22)⇒86.4%(H32) 通院: 15.5%(H22)⇒15.5%(H32) 買物(平日): 15.7%(H22)⇒15.7%(H32) 買物(休日): 11.8%(H22)⇒15.2%(H32)</p> <p>業務: 17.0%(H22)⇒17.0%(H32) 観光: 23.1%(H22)⇒43.7%(H32)</p> <p>■外出率: 70.2%(H22)⇒70.2%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>奥宇陀線: 16,712人(H26) ⇔ 宇陀市榛原・曾爾村: 18,810人(H26) 曾爾香落溪線: 18,615人(H26) ⇔ 曾爾村: 1,676人(H26) 名張奥津線: 29,337人(H26) ⇔ 御杖村: 1,872人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅: 2,087,415人(H25) ⇔ 奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大字陀・曾爾村・東吉野村: 36,929人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅: 57.0%(H22)⇒57.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

<b>事業①</b> 曾爾高原への路線バス乗入れ検討 実施内容 曾爾高原への路線バス直接乗入れについて、ニーズを含めて検討 実施主体 曾爾村、宇陀市、御杖村、奈良交通、三重交通 実施効果 来訪者数の増加、利便性の向上 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑤</b> 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、奥宇陀線、曾爾香落溪線、名張奥津線の路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)
<b>事業②</b> 路線バスのPR 実施内容 路線バスを使ったモデルコースを設定しPR 実施主体 宇陀市、曾爾村、御杖村、奈良交通、三重交通 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑥</b> 全国ICカード共通化 実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体 奈良交通、三重交通 実施効果 利便性の向上 実施期間 H28. 4
<b>事業③</b> 連携コミュニティバス導入の検討 市町村連携コミュニティバスの運行 実施内容 宇陀市、曾爾村、御杖村による路線バス代替連携コミュニティバスの導入を検討 奈良交通奥宇陀線を代替して、宇陀市、曾爾村、御杖村が連携し、市町村連携コミュニティバスを運行 実施主体 宇陀市、曾爾村、御杖村 宇陀地域公共交通活性化協議会 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3 H29. 10 ~ H33. 3	<b>事業⑦</b> 公共交通の利用促進 実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3
<b>事業④</b> 南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン 路線バスを活用した冬期誘客促進事業 実施内容 奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成 実施主体 奈良県 実施効果 来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 12~H29. 3 H29. 12 ~ H30. 3	<b>事業⑧</b> 貨客混載の導入検討 実施内容 奥宇陀線代替市町村連携コミュニティバスで貨客混載の導入検討のため社会実験を実施 実施主体 宇陀地域公共交通活性化協議会 実施効果 バスの生産性向上、物流網の効率化 実施期間 H29. 10 ~ H30. 3



済

## 実施事業

事業⑨	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑩	地域公共交通ネットワークの再編の検討
実施内容	奥宇陀線・曾爾香落溪線を基幹とした地域公共交通ネットワークの再編を検討
実施主体	奈良県、宇陀市、曾爾村、御杖村、三重交通
実施効果	運行の効率化
実施期間	H29. 4 ~ H30. 3

事業⑪	運行ルート・停留所位置の見直しの検討
実施内容	市町村連携コミュニティバスの運行ルート・停留所位置の見直しを検討
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	運行の効率化、公共交通利用者の利便性向上
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑫	運行ダイヤの見直し
実施内容	市町村連携コミュニティバスの運行ダイヤの見直し
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	公共交通利用者の利便性向上
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑬	上限運賃の導入の検討
実施内容	市町村連携コミュニティバスにおいて上限運賃の導入を検討
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑭	停留所の待合環境整備の検討
実施内容	他のバスとの乗り継ぎとなる停留所での待合環境の整備の検討
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	公共交通利用者の利便性向上
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑮	切符の販売の検討
実施内容	奥宇陀線・曾爾香落溪線のいずれでも利用可能な切符の販売の検討
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑯	バスマップの作成・配布の検討
実施内容	来訪者向けの宇陀地域のバスマップの作成・配布の検討
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑰	モビリティ・マネジメントの実施
実施内容	住民・学校を対象としたモビリティ・マネジメントの実施
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑱	既存交通資源(スクールバス等)の有効活用
実施内容	既存交通資源(スクールバス等)の有効活用
実施主体	宇陀地域公共交通活性化協議会
実施効果	運行の効率化
実施期間	H29. 10 ~ H33. 3

事業⑲	バス情報表示装置の設置
実施内容	榛原駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

系統番号	系統名	起点	経路地	終点
6	奥宇陀線	榛原駅	掛西口	曾爾村役場前
103	曾爾香落溪線	名張駅前	太良路	山粕西
104	名張奥津線	名張駅前	滝ノ原口	敷津

凡 例	まちづくりに関する課題・意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス</li> <li>コミバス</li> <li>JR</li> <li>近鉄電車</li> <li>道路</li> <li>バス停</li> <li>行政施設</li> <li>病院</li> <li>高校</li> <li>商業施設</li> <li>観光資源</li> <li>その他箇所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停</li> <li>行政施設</li> <li>病院</li> <li>学校</li> <li>商業施設</li> <li>観光資源</li> <li>その他、課題・意見のあった箇所</li> </ul>

系統番号	6-H26	103	104
※-H26はH26.10に変更した系統			

平日に佛隆寺への参拝やハイキングにちょうどいい時間が無いと複数苦情があり、ダイヤ調整を検討

平日は通学・通院等に利用されており、観光にダイヤをあわせると、通院には帰りが早すぎるといったケースがあり、変更が困難

【宇陀市】バスマップの作成

【曾爾村】榛原駅、名張駅との接続を5年くらいで検討したい

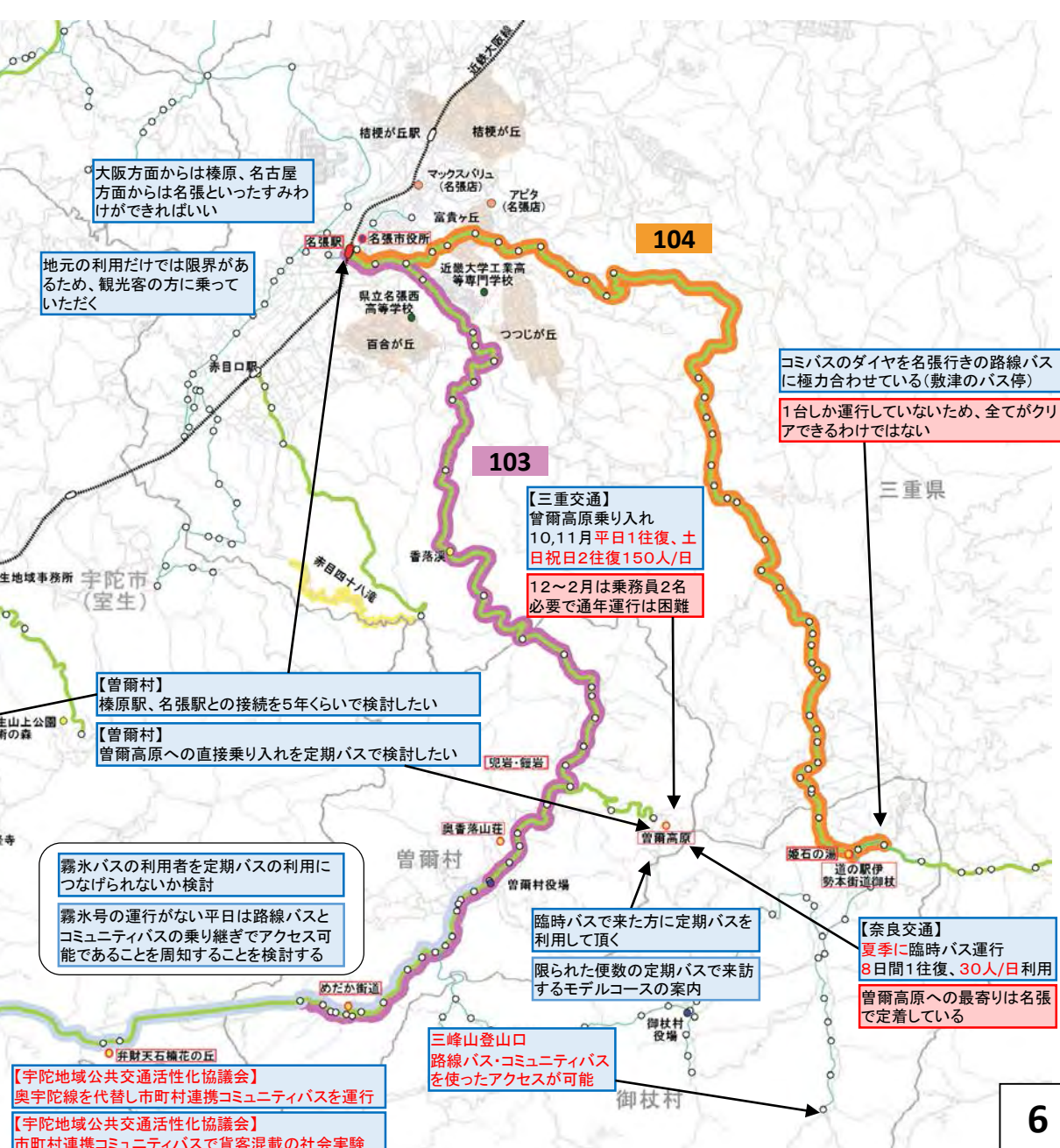
【曾爾村】曾爾高原への直接乗り入れを定期バスで検討したい

霧氷バスの利用者を定期バスの利用につなげられないか検討

霧氷号の運行がない平日は路線バスとコミュニティバスの乗り継ぎでアクセス可能であることを周知することを検討する

南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン

27.9は観劇客の利用があったものの、全般的には京阪神から日帰り圏であるためか利用は多くない



### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「うだ・アニマルパーク」や「道の駅大宇陀」、桜井市内の観光地を中心とした誘客
関係市町村	桜井市、宇陀市
主な沿線施設	桜井駅、榛原駅、桜井市役所、宇陀市役所、桜井病院、済生会中和病院、宇陀市立病院、関西中央高校、大宇陀高校、榛生昇陽高校、心の森総合福祉公園、大宇陀温泉あきののゆ、うだ・アニマルパーク、宇陀松山重要伝統的建造物群保存地区、オークワサンクシティ
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤:30.9%(H22)⇒30.9%(H32) 登校:92.7%(H22)⇒93.9%(H32) 通院:30.8%(H22)⇒30.8%(H32) 買物(平日):26.9%(H22)⇒26.9%(H32) 買物(休日):13.2%(H22)⇒13.2%(H32)</p> <p>業務:20.2%(H22)⇒20.6%(H32) 観光:36.9%(H22)⇒36.9%(H32)</p> <p>■外出率:74.9%(H22)⇒74.9%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>大宇陀線:180,164人(H26) ⇄ 宇陀市榛原・宇陀市大宇陀:17,134人(H26) 桜井菟田野線:19,365人(H26) ⇄ 桜井市・宇陀市大宇陀:65,979人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅:2,087,415人(H25) ⇄ 奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大宇陀・曾爾村・東吉野村:36,929人(H25) 桜井駅:4,116,514人(H25) ⇄ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村:72,106人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅:57.0%(H22)⇒57.0%(H32) 桜井駅:79.6%(H22)⇒80.3%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度:H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

事業①	路線バスのPR
実施内容	ホームページ等でうだ・アニマルパークなど沿線施設へのバスでのアクセス方法をPR
実施主体	桜井市、宇陀市、奈良県、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.4 ~ H33.3

事業②	観光客の誘客に向けた検討
実施内容	沿線の大和さくらい100選や、道の駅宇陀路大宇陀周辺、宇陀松山地区等への誘客の検討
実施主体	桜井市、宇陀市、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.4 ~ H33.3

事業③	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、桜井菟田野線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28.4 ~ H29.9(毎年PDCA)

事業④	ノンステップバスの導入
実施内容	大宇陀線、桜井菟田野線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28.4 ~ H33.3

事業⑤	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上 <b>済</b>
実施期間	H28.4

事業⑥	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.4 ~ H33.3

事業⑦	インバウンド限定周遊切符の発行
実施内容	インバウンド向けに周遊切符を作成し、英語版マップとあわせて、観光案内施設等で配布
実施主体	桜井市
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28.11 ~ H29.9

事業⑧	多言語案内看板の設置
実施内容	桜井駅から各観光施設への交通手段を示す多言語案内看板の設置やコミュニティバスの路線ナンバリングの導入を検討
実施主体	桜井市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28.4 ~ H30.3

系統番号	系統名	運行系統	起点	終点
7	大宇陀	路線バス	榛原駅	大宇陀
7a	大宇陀	路線バス	天満台東三丁目	大宇陀
11	桜井菟田野	路線バス	桜井駅南口	大宇陀高校

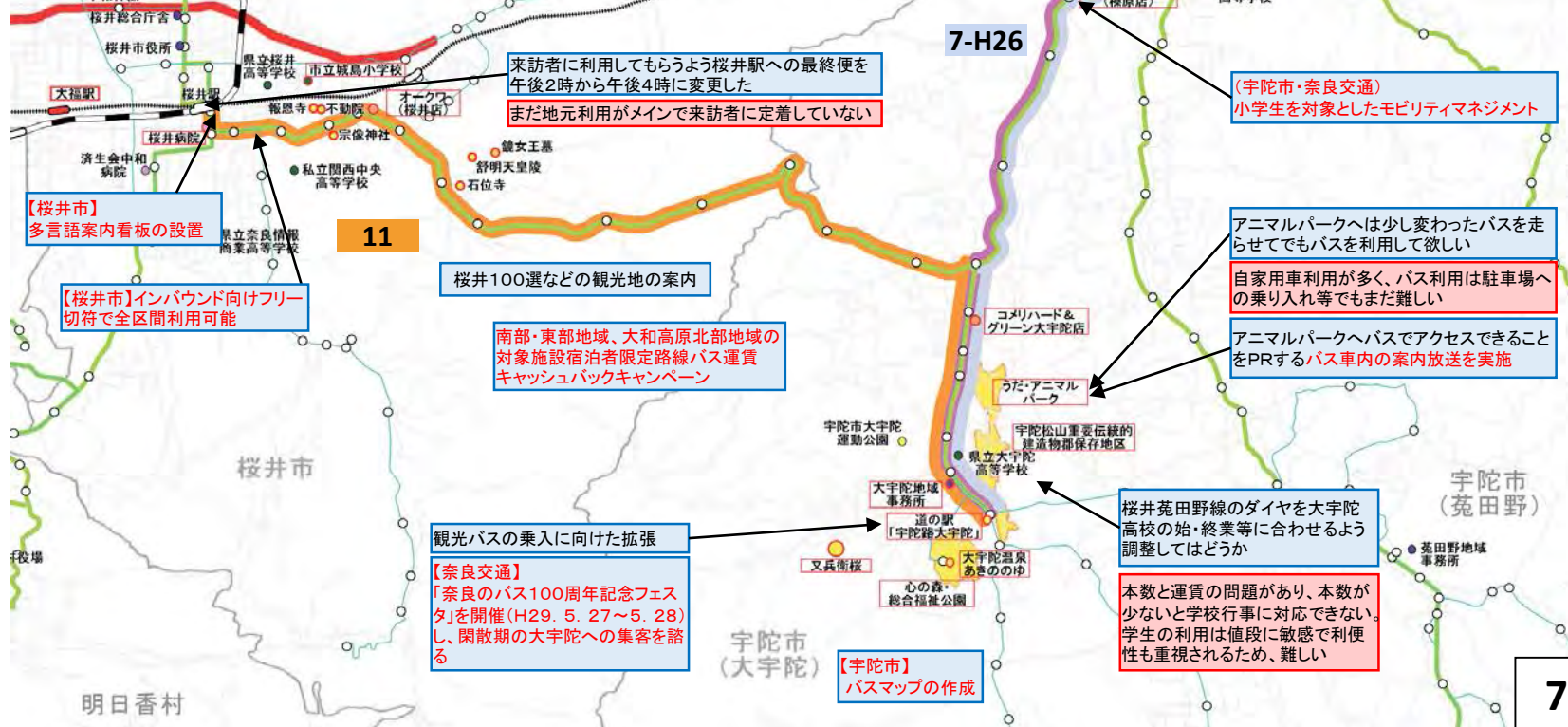
凡例	まちづくりに関する課題・意見
路線バス	バス停
コミバス	行政施設
JR	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	その他、課題・意見のあった箇所
病院	
高校	
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

系統番号	7-H26	7-a-H26	11
※	7-H26はH26.10に変更した系統		

過去に路線別検討会議での意見	施策・意向
	問題・課題
	まちづくりアイデア



### 実施事業

事業⑨	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑩	バス情報表示装置の設置
実施内容	道の駅宇陀路大宇陀へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	宇陀市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑪	路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 12 ~ H30. 3

事業⑫	バス情報表示装置の設置
実施内容	榛原駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

系統番号	系統名	運行系統		起点	経路地	終点
7	大宇陀	榛原駅	内原	大宇陀		大宇陀
7a		天満台東三丁目		大宇陀		大宇陀
11	桜井菟田野	桜井駅南口	大宇陀高校	大宇陀		大宇陀

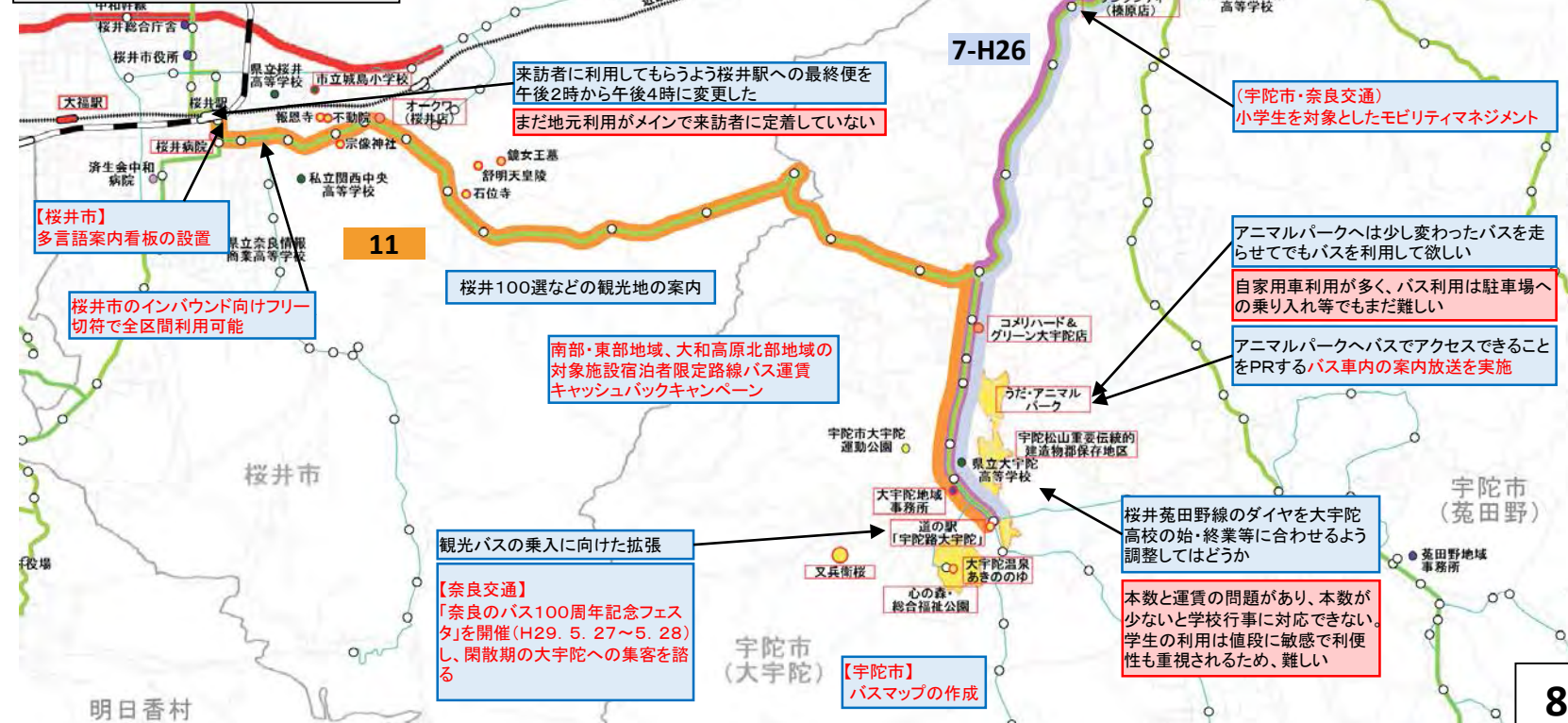
  

凡 例	まちづくりに関する課題・意見
緑線バス	バス停
青線バス	行政施設
黒線バス	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	その他、課題・意見のあった箇所
病院	
学校	
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

系統番号
7-H26
7-a-H26
11

※-H26はH26.10に変更した系統





路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「高見山」の霧氷見学などへの誘客
関係市町村	宇陀市、東吉野村
主な沿線施設	榛原駅、宇陀市役所、菟田野地域事務所、東吉野村役場、宇陀市菟田野産業復興センター、奈良県高原農業復興センター、宇陀市立病院、榛生昇陽高校、奈良カエデの郷ひらら、高見山、宇陀水分神社、オークワサンクシティ
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 26.2%(H22)⇒26.2%(H32)      登校: 88.4%(H22)⇒88.4%(H32)      通院: 19.0%(H22)⇒19.0%(H32)</p> <p>買物(平日): 16.2%(H22)⇒16.2%(H32)      買物(休日): 12.2%(H22)⇒15.6%(H32)</p> <p>業務: 18.4%(H22)⇒18.4%(H32)      観光: 29.6%(H22)⇒50.1%(H32)</p> <p>■外出率: 70.2%(H22)⇒70.2%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>古市場線: 52,713人(H26)      ⇔      宇陀市榛原・宇陀市菟田野: 21,223人(H26)</p> <p>榛原東吉野線: 23,637人(H26)      ⇔      宇陀市榛原・宇陀市菟田野・東吉野村: 23,115人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅: 2,087,415人(H25)      ⇔      奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大宇陀・菅爾村・東吉野村: 36,929人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅: 57.0%(H22)⇒57.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

事業①	路線バスのPR
実施内容	路線バスを使ったモデルコースを設定してPR
実施主体	宇陀市、東吉野村、奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業④	ノンステップバスの導入
実施内容	古市場線、榛原東吉野線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑧	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業②	南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン 路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	奈良県
実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 12 ~ H29. 3 H29. 12 ~ H30. 3

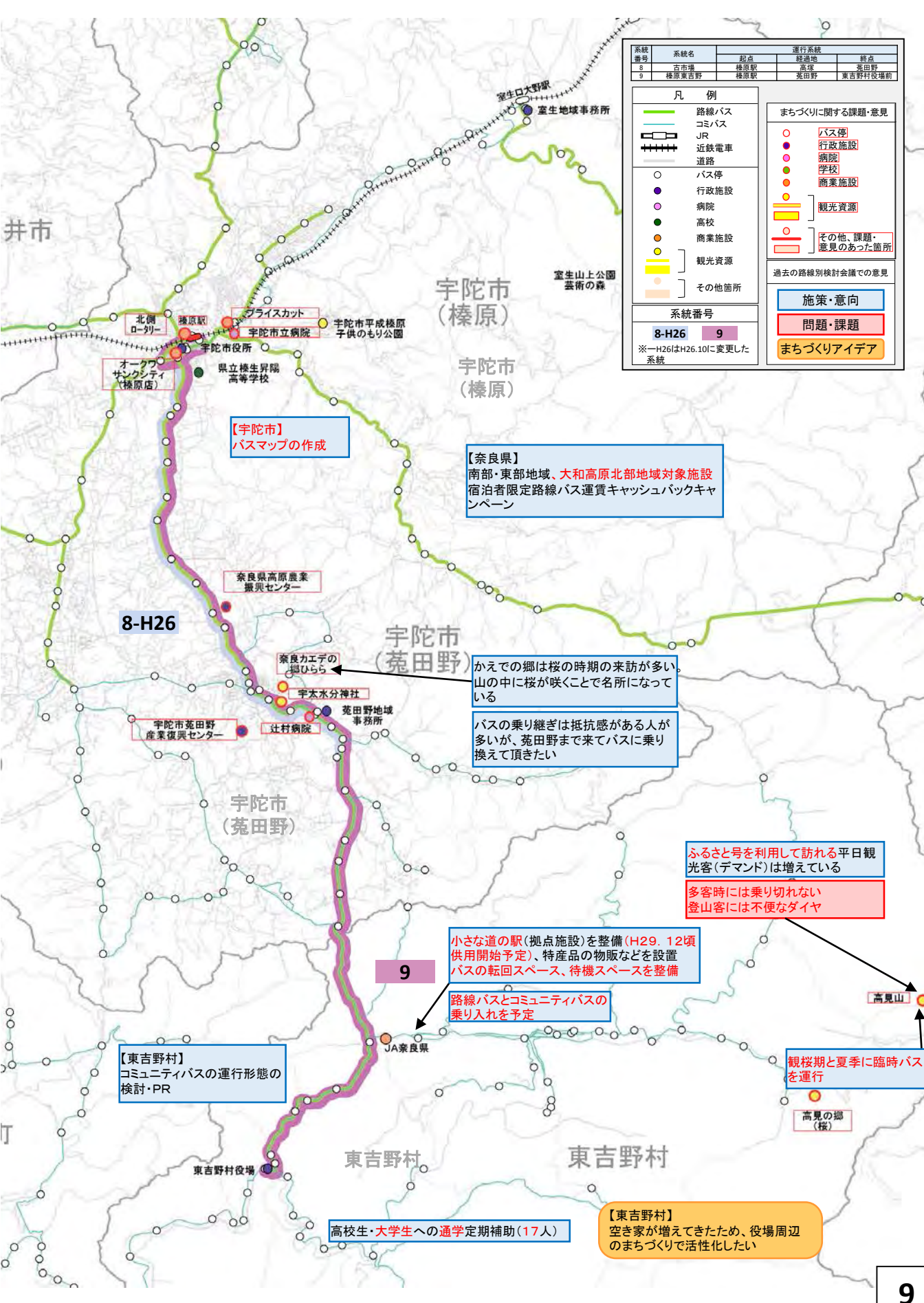
事業⑤	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 4

事業⑨	バス表示装置の設置
実施内容	榛原駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業③	路線運行費補助
実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、榛原東吉野線の路線運行費を補助
実施主体	奈良県
実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)

事業⑥	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑦	交通拠点の整備
実施内容	東吉野村鷺家に小さな道の駅を整備、榛原東吉野線を乗り入れし、コミュニティバスとの乗り継ぎ拠点とするため案内表示装置を整備、コミュニティバスは利用者増に対応し車両代替
実施主体	東吉野村、奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H29. 12頃

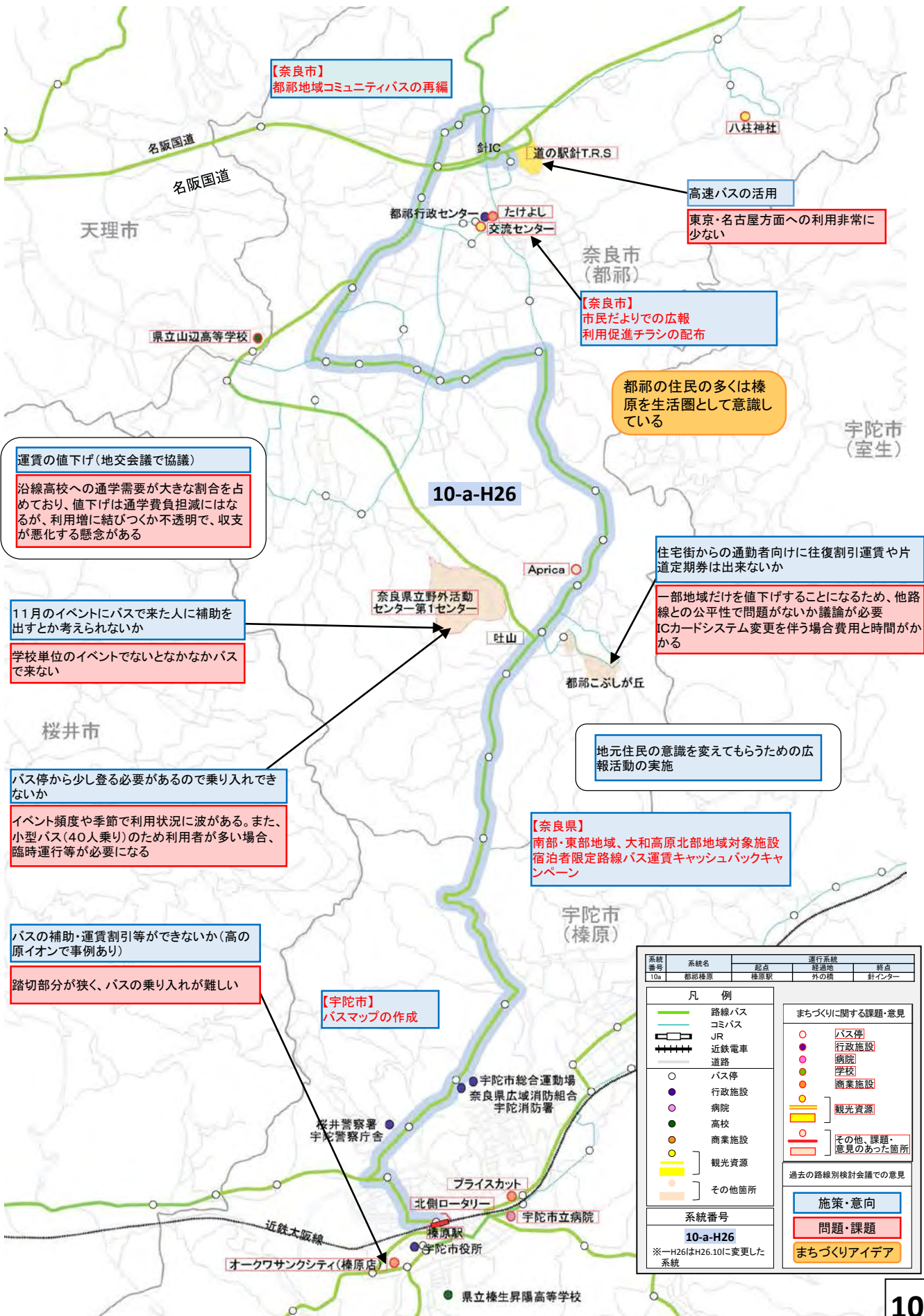


### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「榛原駅」を生活圏とする住民に対する利用促進
関係市町村	奈良市、宇陀市
主な沿線施設	榛原駅、宇陀市役所、桜井警察署宇陀警察庁舎、宇陀市総合運動場、榛生昇陽高校、宇陀市立病院、都祁行政センター、山辺高校、交流センター、道の駅針T.R.S、奈良県立野外活動センター、オークワサンクシティ
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 51.9%(H22)⇒51.9%(H32)      登校: 91.7%(H22)⇒91.7%(H32)      通院: 43.4%(H22)⇒43.4%(H32)</p> <p>買物(平日): 46.2%(H22)⇒46.2%(H32)      買物(休日): 28.9%(H22)⇒28.9%(H32)</p> <p>業務: 31.6%(H22)⇒34.9%(H32)      観光: 60.8%(H22)⇒67.7%(H32)</p> <p>■外出率: 78.6%(H22)⇒78.6%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>都祁榛原線: 47,877人(H26) ⇔ 奈良市都祁・宇陀市榛原: 25,389人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>榛原駅: 2,087,415人(H25) ⇔ 奈良市都祁・宇陀市榛原・宇陀市大宇陀・曾爾村・東吉野村: 36,929人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>榛原駅: 57.0%(H22)⇒57.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

<b>事業① 広報活動の実施</b> 実施内容: 地域住民の意識を変えるため、県・市等が連携し、関係者一体となって利用促進の広報に取り組む 実施主体: 奈良市、宇陀市、奈良県、奈良交通 実施効果: 公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑤ 公共交通の利用促進</b> 実施内容: 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体: 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果: 公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑨ バス情報表示装置の設置</b> 実施内容: 榛原駅へのバス情報表示装置の設置を検討 実施主体: 奈良交通 実施効果: 利便性の向上 実施期間: H30. 4 ~ H32. 3
<b>事業② 路線運行費補助</b> 実施内容: 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、都祁榛原線の路線運行費を補助 実施主体: 奈良県 実施効果: 地域公共交通の維持 実施期間: H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)	<b>事業⑥ 都祁地域コミュニティバスの再編</b> 実施内容: 都祁地域の小学校統廃合に伴うスクールバス、コミュニティバスの再編 実施主体: 奈良市 実施効果: 地域公共交通の維持・効率化 実施期間: H29. 4 ~ H30. 3	
<b>事業③ ノンステップバスの導入</b> 実施内容: 利用状況や道路状況を見据えながら、都祁榛原線に低床車両を導入 実施主体: 奈良交通 実施効果: バリアフリー化の促進 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑦ 路線バスを活用した冬期誘客促進事業</b> 実施内容: 奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域を対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成 実施主体: 奈良県 実施効果: 来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H29. 12~H30. 3	
<b>事業④ 全国ICカード共通化</b> 実施内容: SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体: 奈良交通 実施効果: 利便性の向上 <b>済</b> 実施期間: H28. 4	<b>事業⑧ バスロケーションシステムの導入</b> 実施内容: 奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供 実施主体: 奈良交通 実施効果: 利便性の向上 実施期間: H29. 4 ~ H32. 3	



系統番号	系統名	運行系統	
		起点	終点
10a	都祁榛原	榛原駅	針インター

凡 例	まちづくりに関する課題・意見
緑線	路線バス
青線	コミバス
黒線	JR
黒線(点線)	近鉄電車
黒線(点線)	道路
○	バス停
●	行政施設
○	病院
●	高校
○	商業施設
●	観光資源
○	その他箇所
○	バス運賃
○	行政施設
○	病院
○	学校
○	商業施設
○	観光資源
○	その他、課題、意見のあった箇所

系統番号	10-a-H26
※	H26はH26.10に変更した系統

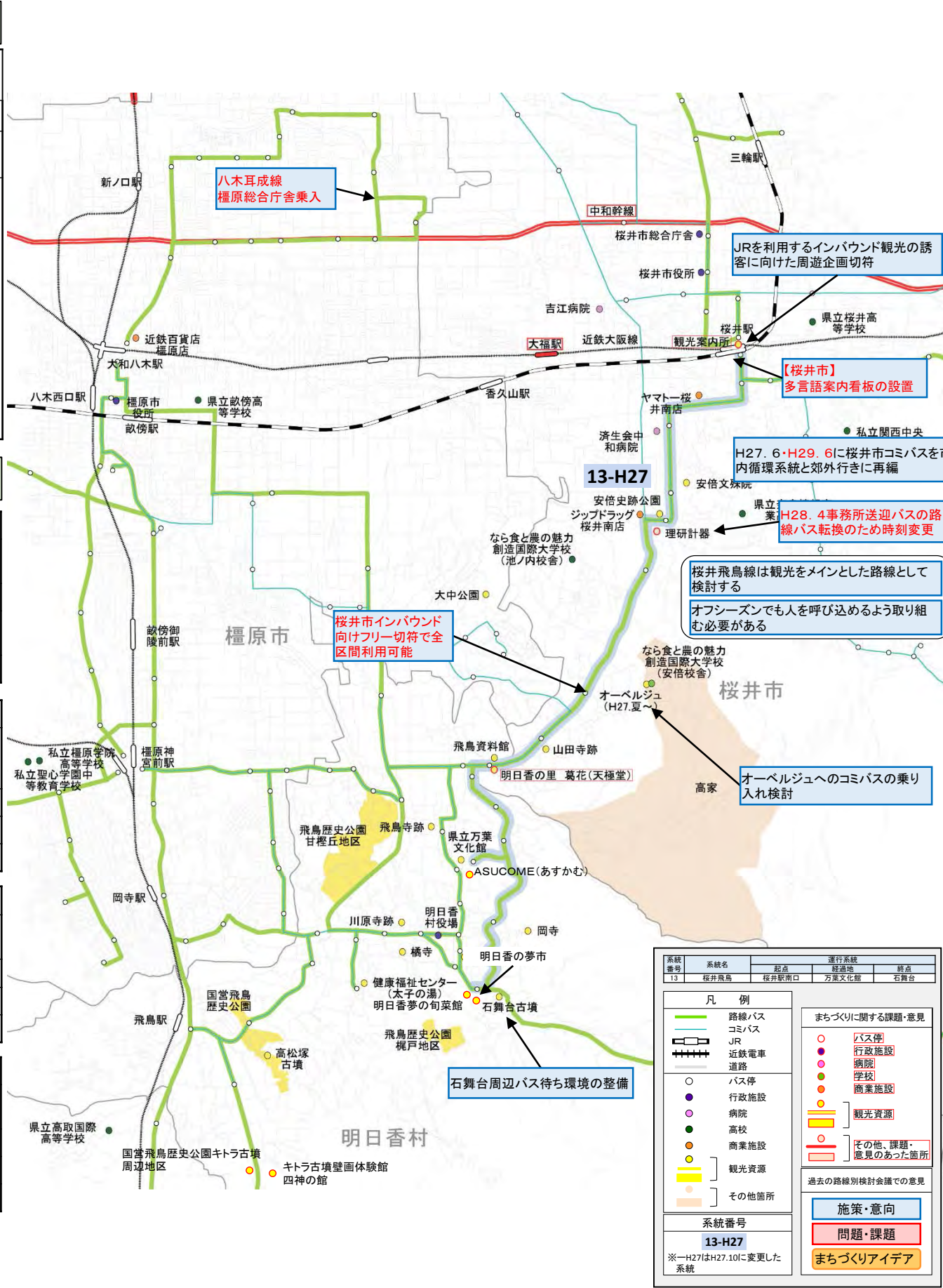
過去の路線別検討会議での意見	施策・意向
	問題・課題
	まちづくりアイデア

### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「 <b>国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区</b> 」や「石舞台」、「オーベルジュ」等への観光による誘客														
関係市町村	桜井市、明日香村														
主な沿線施設	桜井駅、済生会中和病院、安倍文殊院、山田寺跡、岡寺、 <b>明日香の夢市</b> 、 <b>明日香夢の旬菜館</b> 、石舞台古墳、飛鳥資料館、県立万葉文化館、なら食と農の魅力創造国際大学校、オーベルジュ・ぶれざんす桜井、 <b>ASUCOME(あすかむ)</b>														
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)                     <table border="0"> <tr> <td>出勤: 32.0%(H22)⇒32.0%(H32)</td> <td>登校: 94.1%(H22)⇒95.9%(H32)</td> <td>通院: 36.8%(H22)⇒36.8%(H32)</td> </tr> <tr> <td>買物(平日): 29.7%(H22)⇒29.7%(H32)</td> <td>買物(休日): 13.3%(H22)⇒13.3%(H32)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>業務: 20.6%(H22)⇒20.6%(H32)</td> <td>観光: 37.9%(H22)⇒37.9%(H32)</td> <td></td> </tr> </table> </li> <li>■外出率: 77.0%(H22)⇒77.0%(H32)</li> <li>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]                     <table border="0"> <tr> <td>桜井飛鳥線: 10,260人(H26)</td> <td>⇔ 桜井市・明日香村: 64,259人(H26)</td> </tr> </table> </li> <li>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]                     <table border="0"> <tr> <td>桜井駅: 4,116,514人(H25)</td> <td>⇔ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村: 72,106人(H25)</td> </tr> </table> </li> <li>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)                     <table border="0"> <tr> <td>桜井駅: 79.6%(H22)⇒80.3%(H32)</td> </tr> </table> </li> <li>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</li> </ul>	出勤: 32.0%(H22)⇒32.0%(H32)	登校: 94.1%(H22)⇒95.9%(H32)	通院: 36.8%(H22)⇒36.8%(H32)	買物(平日): 29.7%(H22)⇒29.7%(H32)	買物(休日): 13.3%(H22)⇒13.3%(H32)		業務: 20.6%(H22)⇒20.6%(H32)	観光: 37.9%(H22)⇒37.9%(H32)		桜井飛鳥線: 10,260人(H26)	⇔ 桜井市・明日香村: 64,259人(H26)	桜井駅: 4,116,514人(H25)	⇔ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村: 72,106人(H25)	桜井駅: 79.6%(H22)⇒80.3%(H32)
出勤: 32.0%(H22)⇒32.0%(H32)	登校: 94.1%(H22)⇒95.9%(H32)	通院: 36.8%(H22)⇒36.8%(H32)													
買物(平日): 29.7%(H22)⇒29.7%(H32)	買物(休日): 13.3%(H22)⇒13.3%(H32)														
業務: 20.6%(H22)⇒20.6%(H32)	観光: 37.9%(H22)⇒37.9%(H32)														
桜井飛鳥線: 10,260人(H26)	⇔ 桜井市・明日香村: 64,259人(H26)														
桜井駅: 4,116,514人(H25)	⇔ 桜井市・宇陀市大宇陀・明日香村: 72,106人(H25)														
桜井駅: 79.6%(H22)⇒80.3%(H32)															

### 実施事業

<b>事業①</b> 観光地図によるバスの利用促進 実施内容 観光地図を作成しバスの利用を促進 実施主体 桜井市 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑤</b> フリー乗車券の検討 <b>1日フリー乗車券の発行</b> 実施内容 インバウンド向けに <b>バスの1日フリー乗車券</b> を作成し、観光施設等で販売 実施主体 明日香村・奈良交通 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 5 ~ H33. 3	<b>事業⑨</b> 路線バスのPR 実施内容 奈良交通の宣伝媒体・広報活動によるPR 実施主体 奈良交通 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3
<b>事業②</b> <b>インバウンド限定周遊切符の発行</b> 実施内容 インバウンド向けに周遊切符を作成し、英語版マップとあわせて、観光案内施設等で配布 実施主体 桜井市 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 11 ~ H29. 9	<b>事業⑥</b> 通学アクセスの検討 実施内容 なら食と農の魅力創造国際大学校への通学アクセスの検討 実施主体 奈良県、奈良交通 <b>済</b> 実施効果 大学校へのアクセス利便性向上、公共交通の利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑩</b> 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、桜井飛鳥線の路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)
<b>事業③</b> <b>多言語案内看板の設置</b> 実施内容 桜井駅から各観光施設への交通手段を示す多言語案内看板の設置や <b>コミュニティバスの路線ナンバリングの導入</b> を検討 実施主体 桜井市 実施効果 利便性の向上 実施期間 H28. 4 ~ H30. 3	<b>事業⑦</b> バス待ち環境の整備 実施内容 石舞台周辺のバス待ち環境を整備 実施主体 明日香村 実施効果 快適性の向上、安全性の向上 実施期間 H28. 4 ~ H30. 3	<b>事業⑪</b> ノンステップバスの導入 実施内容 桜井飛鳥線にノンステップバスを導入 実施主体 奈良交通 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3
<b>事業④</b> オーベルジュへのコミュニティバスの乗入れ <b>実証運行</b> 実施内容 オーベルジュ・ぶれざんす桜井へコミュニティバスを乗入れ(実証実験を踏まえたPDCAサイクル) 実施主体 桜井市 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加、ニーズの把握 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑧</b> 新たな路線バスの運行 実施内容 観光地を経由し、吉野下千本駐車場と大和八木駅を結ぶ路線バスを多客期に運行 実施主体 吉野大峯ケーブル自動車 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3 (H27. 11より実施)	<b>事業⑫</b> 全国ICカード共通化 実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体 奈良交通 <b>済</b> 実施効果 利便性の向上 実施期間 H28. 4



系統番号	系統名	運行系統	起点	経路地	終点
13	桜井飛鳥	桜井駅南口	万葉文化館	石舞台	

凡例	例
路線バス	緑色の線
コミュニティバス	赤色の線
JR	黒色の線
近鉄電車	青色の線
道路	灰色の線
バス停	赤い点
行政施設	青い点
病院	緑色の点
高校	黄色い点
商業施設	オレンジ色の点
観光資源	黄色い点
その他箇所	オレンジ色の点

まちづくりに関する課題・意見
バス停
行政施設
病院
学校
商業施設
観光資源
その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見
施策・意向
問題・課題
まちづくりアイデア

系統番号
13-H27

※H27はH27.10に変更した系統

### 実施事業

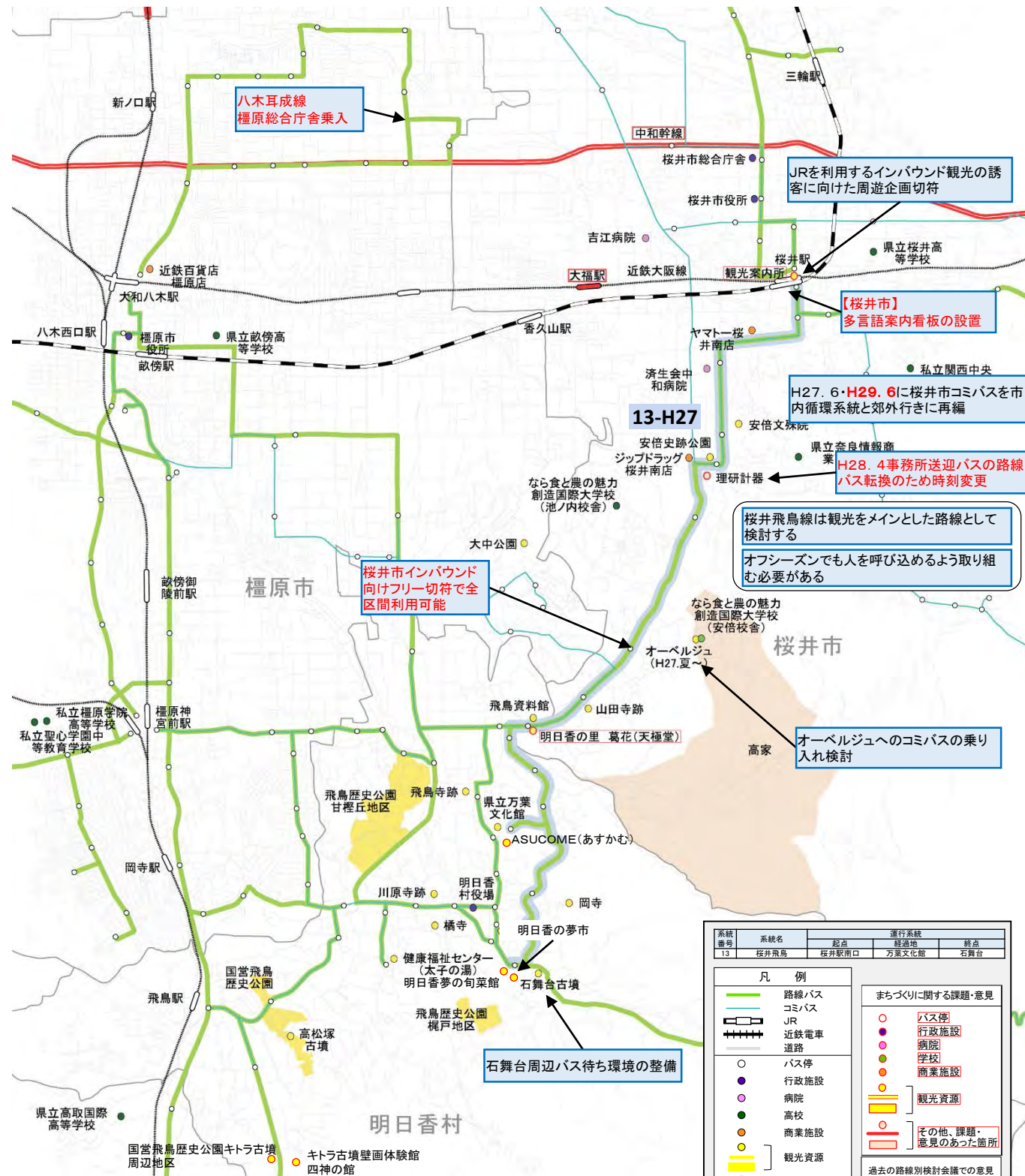
事業⑬	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑭	バス時刻表の配布による利用促進
実施内容	観光路線図及び時刻表を作成しバスの利用を促進
実施主体	明日香村
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 5 ~ H33. 3

事業⑮	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑯	バス情報表示装置の設置
実施内容	橿原総合庁舎へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑰	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	橿原神宮前駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4 ~ H33. 3



系統番号	系統名	運行系統	起点	経遊地	終点
13	桜井飛鳥		桜井駅前口	万葉文化館	石舞台

凡 例	
—	路線バス
—	コミバス
—	JR
—	近鉄電車
—	道路
○	バス停
●	行政施設
●	病院
●	高校
●	商業施設
●	観光資源
●	その他箇所

まちづくりに関する課題・意見	
○	バス停
●	行政施設
●	病院
●	学校
●	商業施設
●	観光資源
○	その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見	
■	施策・意向
■	問題・課題
■	まちづくりアイデア

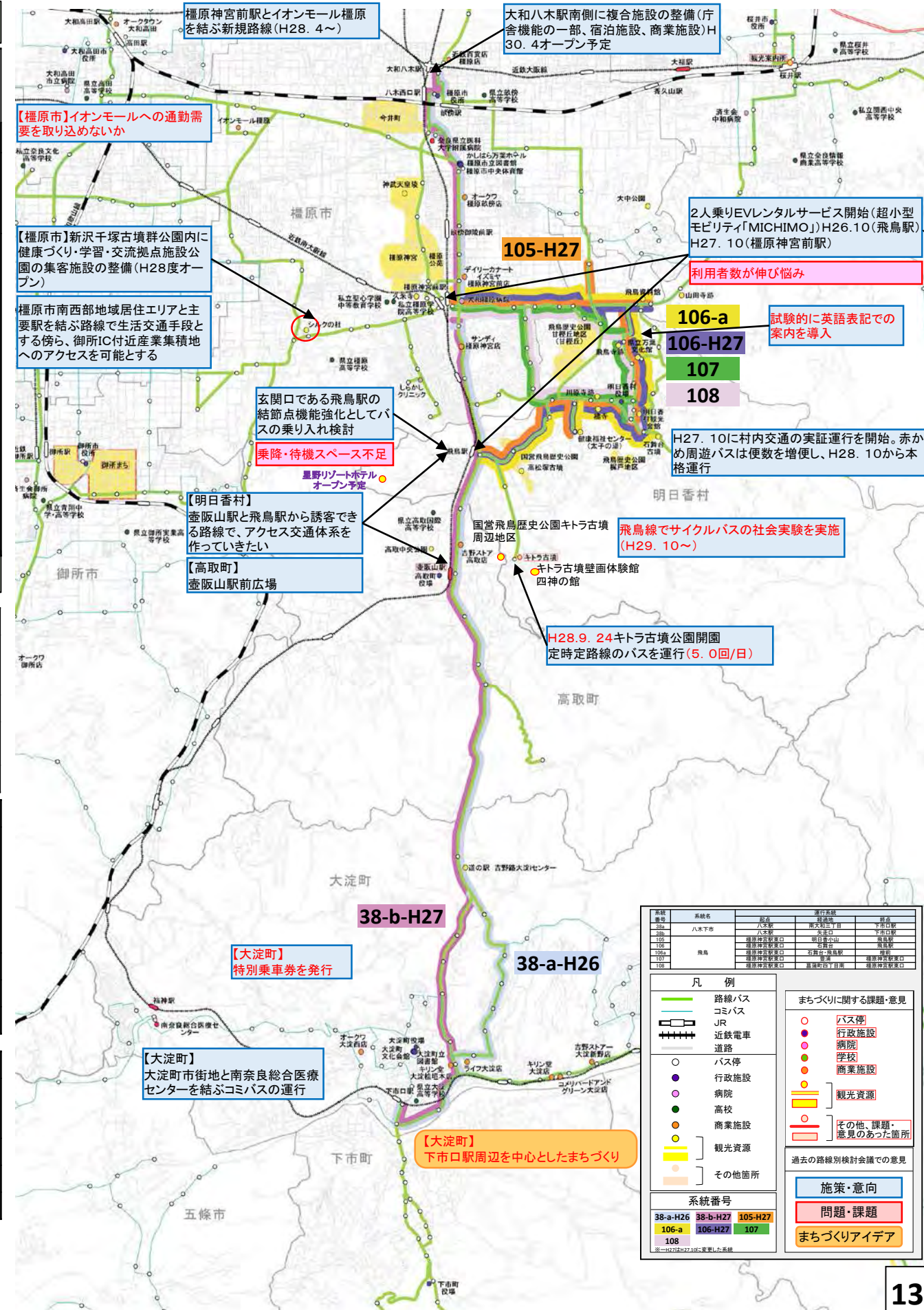
系統番号
13-H27

※—H27はH27.10に変更した系統

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	医大病院へのアクセス等、生活交通の確保 「 <b>国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区・キトラ古墳壁画体験館四神の館</b> 」、「石舞台古墳」等、明日香村内の観光施設への誘客
関係市町村	橿原市、高取町、明日香村、大淀町
主な沿線施設	大和八木駅、八木西口駅、畝傍駅、畝傍御陵前駅、橿原神宮前駅、岡寺駅、飛鳥駅、壺阪山駅、下市口駅、大淀バスセンター、橿原市役所、明日香村役場、高取町役場、大淀町役場、かしはら万葉ホール、橿原市立図書館、橿原市中央体育館、奈良県立医科大学付属病院、高取国際高校、大淀高校、飛鳥資料館、県立万葉文化館、石舞台古墳、橘寺、高松塚古墳、道の駅・吉野路大淀センター、近鉄百貨店橿原店、ライフ大淀店、 <b>キトラ古墳公園</b>
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)                      出勤: 37.2%(H22)⇒37.2%(H32)    登校: 93.1%(H22)⇒93.1%(H32)    通院: 36.5%(H22)⇒36.5%(H32)                      買物(平日): 33.3%(H22)⇒33.3%(H32)    買物(休日): 18.6%(H22)⇒18.6%(H32)                      業務: 24.9%(H22)⇒27.6%(H32)    観光: 38.4%(H22)⇒38.4%(H32)</li> <li>■外出率: 79.4%(H22)⇒79.4%(H32)</li> <li>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]                      八木下市線: 34,115人(H26)    ⇔    橿原市・高取町・明日香村・大淀町: 156,514人(H26)                      飛鳥線: 86,989人(H26)    ⇔    橿原市・明日香村: 130,893人(H26)</li> <li>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]                      大和八木駅: 6,764,828人(H25)    ⇔    橿原市: 125,543人(H25)                      飛鳥駅: 443,388人(H25)    ⇔    明日香村: 5,614人(H25)                      壺阪山駅: 255,422人(H25)    ⇔    高取町: 7,426人(H25)                      下市口駅: 658,169人(H25)    ⇔    大淀町・下市町・黒滝村・天川村: 27,296人(H25)</li> <li>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)                      大和八木駅: 89.6%(H22)⇒89.6%(H32)    飛鳥駅: 91.7%(H22)⇒96.6%(H32)                      壺阪山駅: 68.1%(H22)⇒68.1%(H32)    下市口駅: 56.4%(H22)⇒56.4%(H32)</li> <li>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</li> </ul>

## 実施事業

事業①	飛鳥駅への路線バス乗入れの検討	事業⑤	村内交通の実証運行 村内交通の運行	事業⑧	新たな路線バスの運行
実施内容	地域の玄関口である飛鳥駅の結節点機能強化として八木下市線の乗入れを検討	実施内容	明日香村内交通の実証運行を実施 明日香村内交通の実証運行を踏まえ、飛鳥線の増便と乗合交通の本格運行を実施	実施内容	観光地を經由し、吉野下千本駐車場と大和八木駅を結ぶ路線バスを多客期に運行
実施主体	明日香村、奈良交通	実施主体	明日香村	実施主体	吉野大峯ケーブル自動車
実施効果	利便性の向上、安全性の向上	実施効果	利便性の向上、ニーズの把握	実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4 ~ H30. 3	実施期間	H27. 11 ~ H33. 3
事業②	観光客の誘客に向けた検討	事業⑥	2人乗りEVレンタルサービス	事業⑨	コミュニティバスの再編
実施内容	壺阪山駅と飛鳥駅から観光地へ誘客できるアクセス交通体系を検討	実施内容	超小型モビリティの導入と走行エリア拡大。貸出案内所MICHIMOステーションの整備 鉄道駅(橿原神宮前駅、飛鳥駅)に事業拠点を整備し、超小型モビリティの機動性、周遊性から飛鳥地方の観光客来訪者の増加を目指す	実施内容	南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編 無償の福祉バスを有償のコミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーに再編し運行 病院アクセスの確保を含め、運行内容を継続的に検討
実施主体	明日香村、高取町	実施主体	明日香村、高取町、橿原市(飛鳥情報交通協議会)	実施主体	大淀町
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	来訪者の増加、地域公共交通の活性化	実施効果	病院アクセスの確保、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4 ~ H33. 3(H26. 10より実施)	実施期間	H28. 4 ~ H33. 3
事業③	フリー乗車券の検討 1日フリー乗車券の発行	事業⑦	新たな路線バスの運行	事業⑩	路線運行費補助
実施内容	インバウンド向けにバスの1日フリー乗車券を作成し、観光施設等で販売	実施内容	橿原神宮前駅～イオンモール橿原、橿原神宮前駅～御所IC付近の路線バスを運行	実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木下市線の路線運行費を補助
実施主体	明日香村・奈良交通	実施主体	奈良交通、橿原市地域公共交通会議	実施主体	奈良県
実施効果	公共交通利用者数の増加	実施効果	公共交通利用者数の増加、利便性の向上	実施効果	地域公共交通の維持
実施期間	H28. 5 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4 ~ H30. 3(毎年PDCA)	実施期間	H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)
事業④	駅前広場の整備				
実施内容	壺阪山駅の駅前広場を整備				
実施主体	高取町				
実施効果	利便性の向上				
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3				



系統番号	系統名	運行系統	運行区間
38-a-H26	八木下市	八木駅	八木駅 - 下市口駅
38-b-H27	八木下市	近鉄電車	近鉄電車
105-H27	飛鳥	近鉄電車	近鉄電車
106-a	飛鳥	近鉄電車	近鉄電車
106-H27	飛鳥	近鉄電車	近鉄電車
107	飛鳥	近鉄電車	近鉄電車
108	飛鳥	近鉄電車	近鉄電車

凡例	まちづくりに関する課題・意見
路線バス	バス停
コミバス	行政施設
JR	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	その他、課題・意見のあった箇所
病院	
学校	
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

系統番号	系統名
38-a-H26	38-b-H27
105-H27	106-a
106-H27	107
108	

過去に路線別検討会議での意見

施策・意向

問題・課題

まちづくりアイデア

### 実施事業

事業⑪	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上 <b>済</b>
実施期間	H28. 4

事業⑩	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	橿原神宮前駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4 ~ H33. 3

事業⑫	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑬	特別乗車券の導入
実施内容	町内路線バスが100円で乗車できる特別乗車券の導入
実施主体	大淀町
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑬	飛鳥駅を拠点として整備
実施内容	飛鳥駅の結節点機能強化のため駅前広場の整備を検討
実施主体	明日香村、奈良県
実施効果	乗り継ぎ利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H33. 3

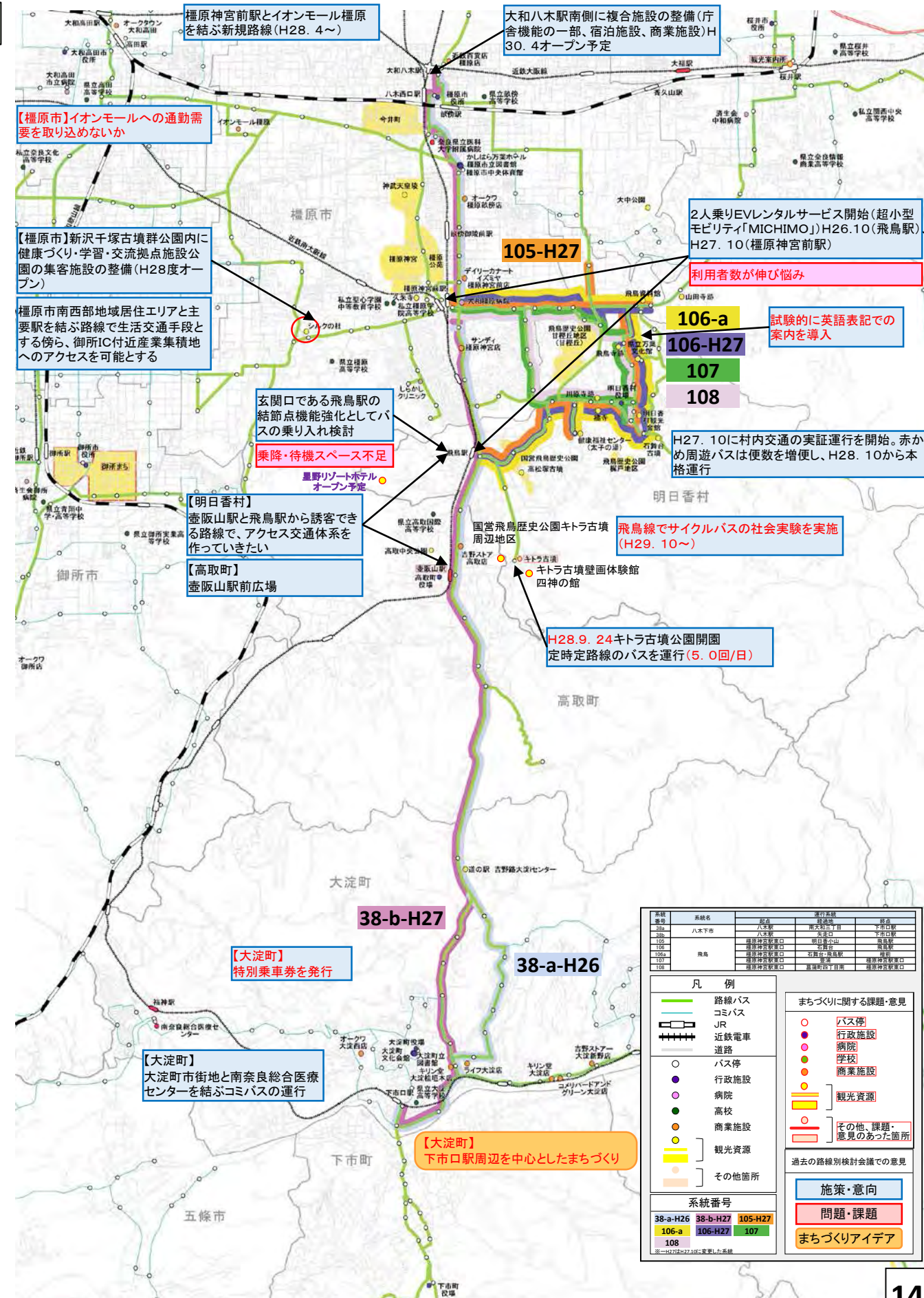
事業⑭	バス時刻表の配布による利用促進
実施内容	観光路線図及び時刻表を作成しバスの利用を促進
実施主体	明日香村
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 5 ~ H33. 3

事業⑭	サイクルバスの導入検討
実施内容	飛鳥線においてサイクルバスの導入検討のため社会実験を実施
実施主体	奈良県、奈良交通
実施効果	新規需要開拓
実施期間	H29. 10 ~ H30. 3

事業⑮	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	利便性の向上
実施効果	奈良交通
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑯	バス情報表示装置の設置
実施内容	大和八木駅、イオンモール橿原へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑰	バス情報表示装置の設置
実施内容	県立医大病院へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3



系統番号	系統名	運行系統	運行区間
38a	八木下市	八木駅	八木駅 - 下市口駅
38b	八木下市	八木駅	八木駅 - 下市口駅
105	飛鳥	橿原神宮前駅	橿原神宮前駅 - 飛鳥駅
106	飛鳥	橿原神宮前駅	橿原神宮前駅 - 飛鳥駅
106a	飛鳥	橿原神宮前駅	橿原神宮前駅 - 飛鳥駅
107	飛鳥	橿原神宮前駅	橿原神宮前駅 - 飛鳥駅
108	飛鳥	橿原神宮前駅	橿原神宮前駅 - 飛鳥駅

**凡例**

- 路線バス
- コミバス
- JR
- 近鉄電車
- 道路
- バス停
- 行政施設
- 病院
- 商業施設
- 観光資源
- その他、課題・意見のあった箇所

**まちづくりに関する課題・意見**

- バス停
- 行政施設
- 病院
- 学校
- 商業施設
- 観光資源
- その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

**施策・意向**

**問題・課題**

**まちづくりアイデア**

系統番号

38-a-H26 38-b-H27 105-H27  
106-a 106-H27 107  
108

※105-H27はH27.10にH28.10に変更した系統

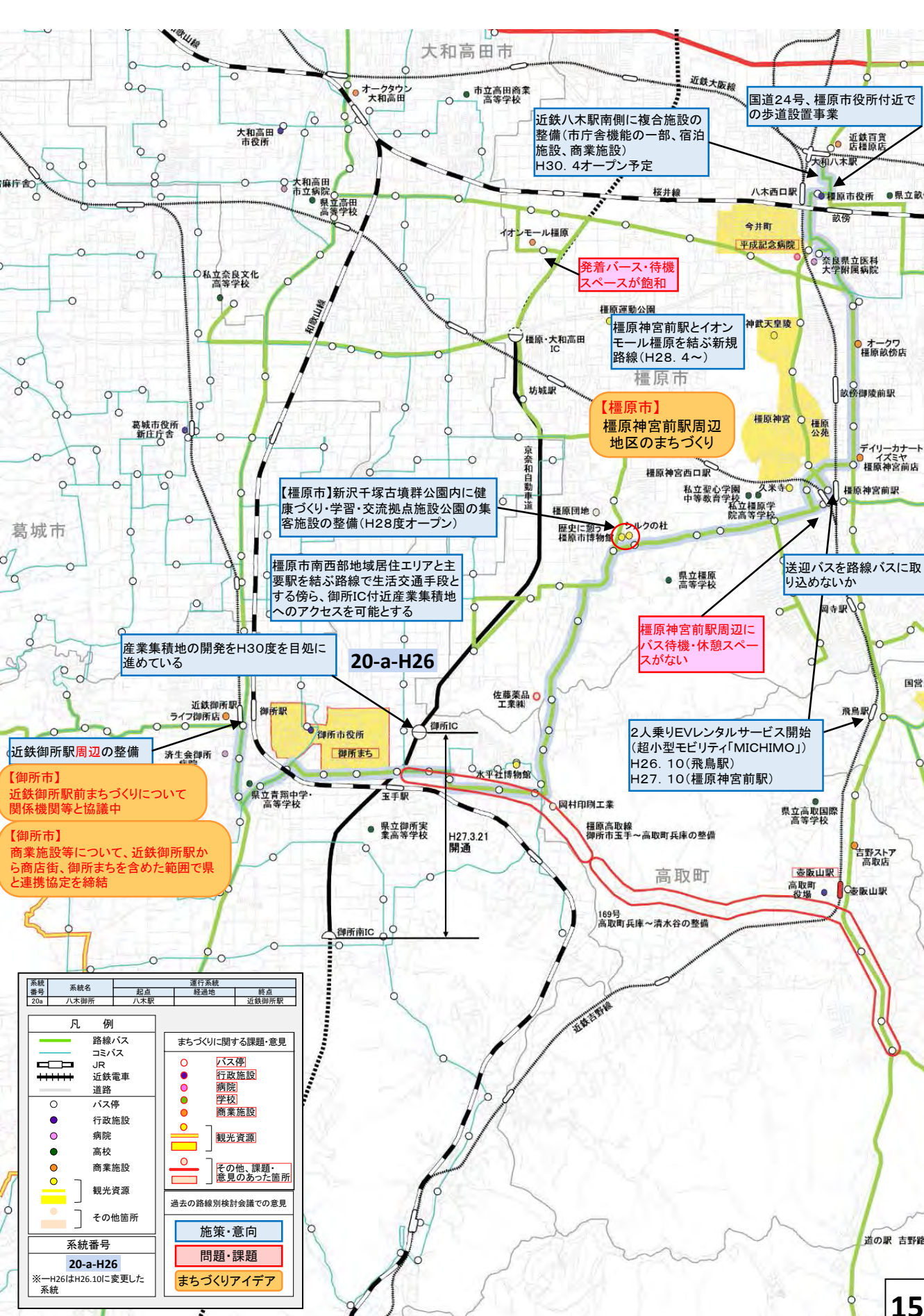
### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	沿線の高校や御所IC周辺へのアクセス確保
関係市町村	橿原市、御所市、高取町
主な沿線施設	大和八木駅、八木西口駅、畝傍駅、畝傍御陵前駅、橿原神宮前駅、玉手駅、御所駅、近鉄御所駅、橿原市役所、御所市役所、奈良県立医科大学附属病院、済生会御所病院、橿原学院高校、橿原高校、聖心学園中等教育学校、御所実業高校、青翔中学・高校、シルクの杜、新沢千塚資料館、久米寺、水平社博物館、近鉄百貨店橿原店
評価指標	<b>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 出勤: 37.1%(H22)⇒37.1%(H32)      登校: 93.3%(H22)⇒93.3%(H32)      通院: 35.7%(H22)⇒35.7%(H32) 買物(平日): 33.8%(H22)⇒33.8%(H32)      買物(休日): 19.1%(H22)⇒19.1%(H32) 業務: 25.2%(H22)⇒28.0%(H32)      観光: 43.9%(H22)⇒43.9%(H32)
	<b>■外出率: 79.1%(H22)⇒79.1%(H32)</b>
	<b>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</b> 八木御所線: 32,664人(H26)      ⇔      橿原市・御所市・高取町: 160,790人(H26)
	<b>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</b> 大和八木駅: 6,764,828人(H25)      ⇔      橿原市: 125,543人(H25) 橿原神宮前駅: 3,737,156人(H25)      ⇔      橿原市・明日香村: 131,157人(H25) 近鉄御所駅: 818,164人(H25)      ⇔      御所市: 28,809人(H25)
	<b>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 大和八木駅: 89.6%(H22)⇒89.6%(H32)      橿原神宮前駅: 82.5%(H22)⇒83.1%(H32) 近鉄御所駅: 74.9%(H22)⇒74.9%(H32)
<b>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</b>	

### 実施事業

<b>事業①</b> 新たな路線バスの運行 実施内容 橿原神宮前駅～イオンモール橿原、橿原神宮前駅～観音寺の路線バスを運行 実施主体 奈良交通、橿原市地域公共交通会議 実施効果 公共交通利用者数の増加、利便性の向上 実施期間 H28.4～H30.3(毎年PDCA)	<b>事業④</b> 鉄道駅のバリアフリー化 実施内容 近鉄御所駅にスロープを設置し段差を解消、近鉄橿原神宮前駅に内方線付点字ブロックを設置 実施主体 近畿日本鉄道 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H30.4～H33.3
<b>事業②</b> 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木御所線の路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28.4～H29.9(毎年PDCA)	<b>事業⑤</b> 全国ICカード共通化 実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体 奈良交通 実施効果 利便性の向上 <b>済</b> 実施期間 H28.4
<b>事業③</b> ノンステップバスの導入 実施内容 八木御所線にノンステップバスを導入 実施主体 奈良交通 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H28.4～H33.3	<b>事業⑥</b> 公共交通の利用促進 実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28.4～H33.3

<b>事業⑦</b> 八木御所線の再編検討 実施内容 運行改善策の策定を繰り返している状況に鑑み、関係者の取組の効果を踏まえつつ、抜本的な運行改善策や運行形態の見直し等について検討 実施主体 奈良県、橿原市、御所市、高取町、奈良交通 実施効果 地域公共交通の維持、運行の効率化 実施期間 H29.4～H30.6	<b>事業⑧</b> 市内交通の再編検討 実施内容 コミュニティバスの再編やデマンド型交通の導入などを含め、全市的な公共交通網の見直しを検討 実施主体 御所市 実施効果 地域公共交通の維持、利便性の向上 実施期間 H29.9～H30.3
<b>事業⑨</b> バスロケーションシステムの導入 実施内容 奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供 実施主体 奈良交通 実施効果 利便性の向上 実施期間 H29.4～H32.3	



系統番号	系統名	運行系統		
		起点	経路地	終点
20a	八木御所	八木駅		近鉄御所駅

凡例	
—	路線バス
—	コミバス
—	JR
—	近鉄電車
—	道路
○	バス停
○	行政施設
○	病院
○	学校
○	商業施設
○	観光資源
○	その他、課題・意見のあった箇所
○	その他箇所

○	まちづくりに関する課題・意見
○	バス停
○	行政施設
○	病院
○	学校
○	商業施設
○	観光資源
○	その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

■	施策・意向
■	問題・課題
■	まちづくりアイデア

系統番号  
**20-a-H26**  
※H26はH26.10に変更した系統





### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	駅前再開発でのバス乗り入れによる交通結節機能強化 大規模商業施設へのアクセス拡充 新規施設へのアクセス確保
関係市町村	大和高田市、橿原市、葛城市、広陵町
主な沿線施設	大和高田駅、高田駅、尺土駅、高田市駅、忍海駅、大和新庄駅、大和高田市役所、市民交流センター、大和高田市立病院、高田高校、奈良文化高校、馬見丘陵公園、竹取公園、イオンモール橿原
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 40.7%(H22)⇒40.7%(H32)      登校: 93.9%(H22)⇒93.9%(H32)      通院: 38.2%(H22)⇒38.2%(H32)</p> <p>買物(平日): 37.5%(H22)⇒37.5%(H32)      買物(休日): 20.7%(H22)⇒20.7%(H32)</p> <p>業務: 27.1%(H22)⇒32.0%(H32)      観光: 43.9%(H22)⇒44.2%(H32)</p> <p>■外出率: 79.7%(H22)⇒79.7%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>高田イオンモール線: 114,560人(H26) ⇔ 大和高田市・広陵町: 99,619人(H26)</p> <p>高田新家線: 56,087人(H26) ⇔ 大和高田市・広陵町: 99,619人(H26)</p> <p>高田五條線: 144,206人(H26) ⇔ 大和高田市・葛城市: 102,227人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>大和高田駅: 3,287,243人(H25) ⇔ 大和高田市・葛城市・広陵町: 136,258人(H25)</p> <p>尺土駅: 892,568人(H25) ⇔ 大和高田市・葛城市: 102,871人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>大和高田駅: 84.7%(H22)⇒84.7%(H32)      尺土駅: 90.7%(H22)⇒93.7%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

事業① 尺土駅へのコミュニティバス乗入	事業④ 馬見丘陵公園や竹取公園などを拠点としたネットワークの検討	事業⑦ ノンステップバスの導入
実施内容 尺土駅に葛城市のコミュニティバスを乗入れ	実施内容 馬見丘陵公園や竹取公園を拠点としたまちづくりにおける交通ネットワークを検討	実施内容 高田イオンモール線、高田新家線、高田五條線にノンステップバスを導入
実施主体 葛城市	実施主体 奈良県、広陵町	実施主体 奈良交通
実施効果 利便性の向上、公共交通利用者数の増加	実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加、利便性の向上	実施効果 バリアフリー化の促進
実施期間 H28.4 ~ H33.3 (H28.2~実施)	実施期間 H28.4 ~ H33.3	実施期間 H28.4 ~ H33.3
事業② 市民交流センターにコミュニティバスの乗り継ぎ拠点を新設 コミュニティバスの再編	事業⑤ 広陵町コミュニティバス「広陵元気号」の再編	事業⑧ 全国ICカード共通化
実施内容 サテュ跡地に建設中の市民交流センターに大和高田市のコミュニティバスを乗入れ、ここを乗り継ぎ拠点として現行の路線再編を検討 市民交流センターを乗り継ぎ拠点として再編 運行内容を継続的に検討	実施内容 コミュニティバスの運行内容を見直し再編 運行内容を継続的に検討	実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体 大和高田市	実施主体 広陵町	実施主体 奈良交通
実施効果 中心市街地等の周遊性の向上、市民交通サービスの充実	実施効果 公共交通利用者数の増加、利便性の向上	実施効果 利便性の向上
実施期間 H28.4 ~ H33.3	実施期間 H28.10 ~ H31.3	実施期間 H28.4
事業③ 新たな路線バスの運行	事業⑥ 路線運行費補助	事業⑨ 鉄道駅バリアフリー化
実施内容 橿原神宮前駅～イオンモール橿原、橿原神宮前～御所IC付近の路線バスを運行	実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、高田イオンモール線、高田五條線の路線運行費を補助	実施内容 大和高田駅、橿原神宮前駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体 奈良交通、橿原市地域公共交通会議	実施主体 奈良県	実施主体 近畿日本鉄道
実施効果 公共交通利用者数の増加、利便性の向上	実施効果 地域公共交通の維持	実施効果 バリアフリー化の促進
実施期間 H28.4 ~ H30.3(毎年PDCA)	実施期間 H28.4 ~ H29.9(毎年PDCA)	実施期間 H29.4 ~ H33.3
事業⑩ 地域公共交通ネットワークの再編の検討		
実施内容 イオンモール橿原を拠点とした地域公共交通ネットワークの再編を検討		
実施主体 奈良県、橿原市、大和高田市、葛城市、広陵町、五條市、奈良交通		
実施効果 運行の効率化、利便性の向上		
実施期間 H29.4 ~ H30.3		



### 実施事業

事業⑪	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑫	標柱の再整備(多言語表記等の導入)の検討
実施内容	コミュニティバスの停留所をより分かりやすくするため、標柱を再整備あわせて多言語表記等の導入を検討
実施主体	大和高田市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H33. 3

事業⑬	情報表示装置の設置の検討
実施内容	コミュニティバスの主要停留所への情報表示装置の設置の検討 まずは大和高田駅に隣接する民間商業施設等の開発状況を勘案しながら設置を検討
実施主体	大和高田市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H33. 3

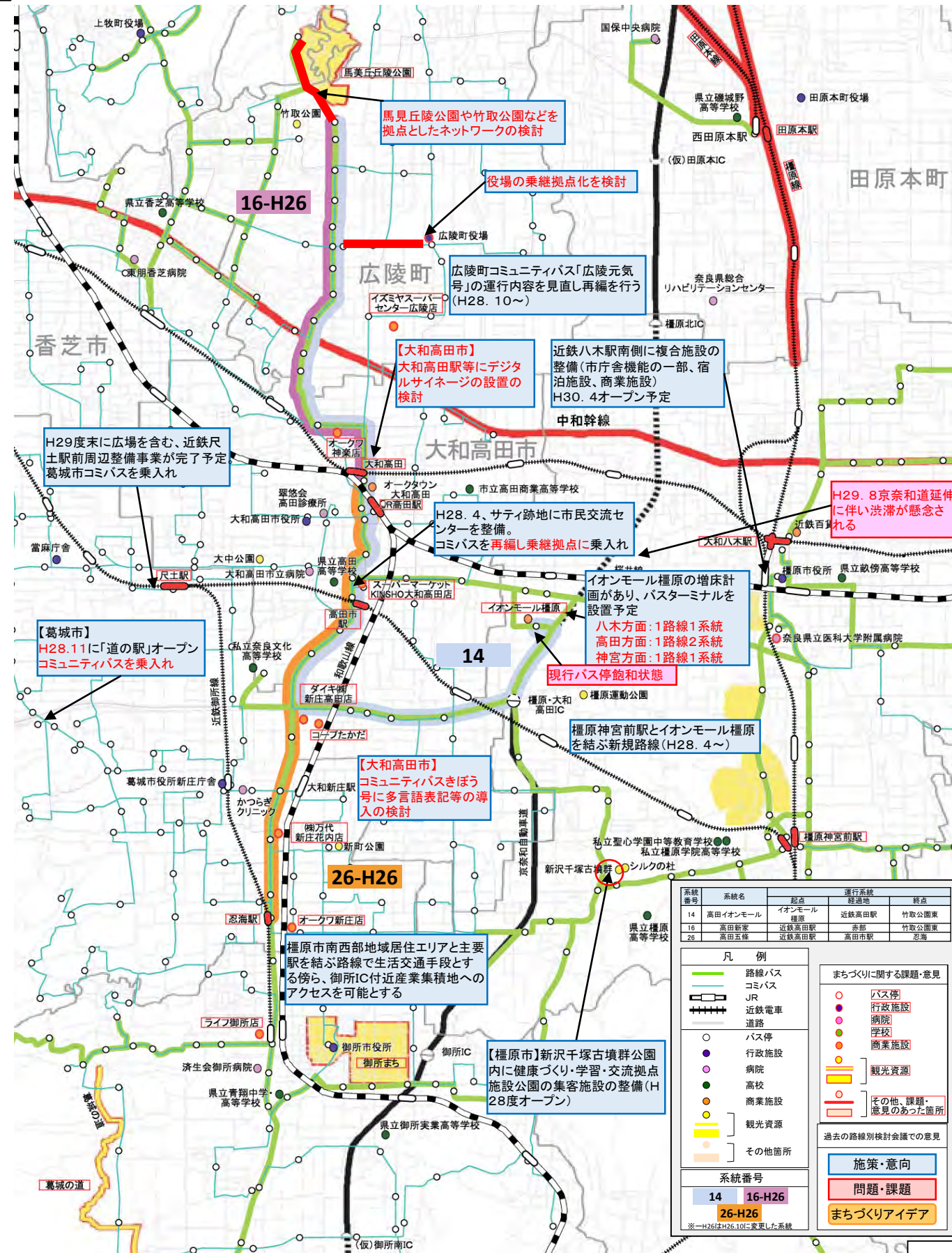
事業⑭	市内交通の再編検討
実施内容	コミュニティバスの再編やデマンド型交通の導入などを含め、全市的な公共交通網の見直しを検討
実施主体	御所市
実施効果	地域公共交通の維持、利便性の向上
実施期間	H29. 9 ~ H31. 3

事業⑮	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑯	バス情報表示装置の設置
実施内容	イオンモール橿原へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑰	バスの乗り方教室の開催
実施内容	小学生を対象にバスに慣れ親しんでもらうための教室を開催
実施主体	広陵町、奈良交通
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 6 ~ H33. 3

事業⑱	バスロケーションシステムの活用
実施内容	葛城市コミュニティバスに導入したバスロケーションシステムについて、利用者への周知を図るとともに、遅延情報を把握・分析し、路線再編に活用
実施主体	葛城市
実施効果	利便性の向上、運行の効率化
実施期間	H29. 1 ~ H33. 3



系統番号	系統名	起点	運行系統	終点
14	高田イオンモール	イオンモール	近鉄高田駅	竹取公園東
16	高田新家	近鉄高田駅	高田	竹取公園東
26	高田五條	近鉄高田駅	高田市駅	忍海

凡 例		まちづくりに関する課題・意見	
●	路線バス	●	バス停
○	コムバス	○	行政施設
■	JR	■	病院
■	近鉄電車	■	学校
■	道路	■	商業施設
○	バス停	○	観光資源
○	行政施設	○	その他、課題・意見のあった箇所
○	病院		
○	高校		
○	商業施設		
○	観光資源		
○	その他箇所		

系統番号	
14	16-H26
26-H26	

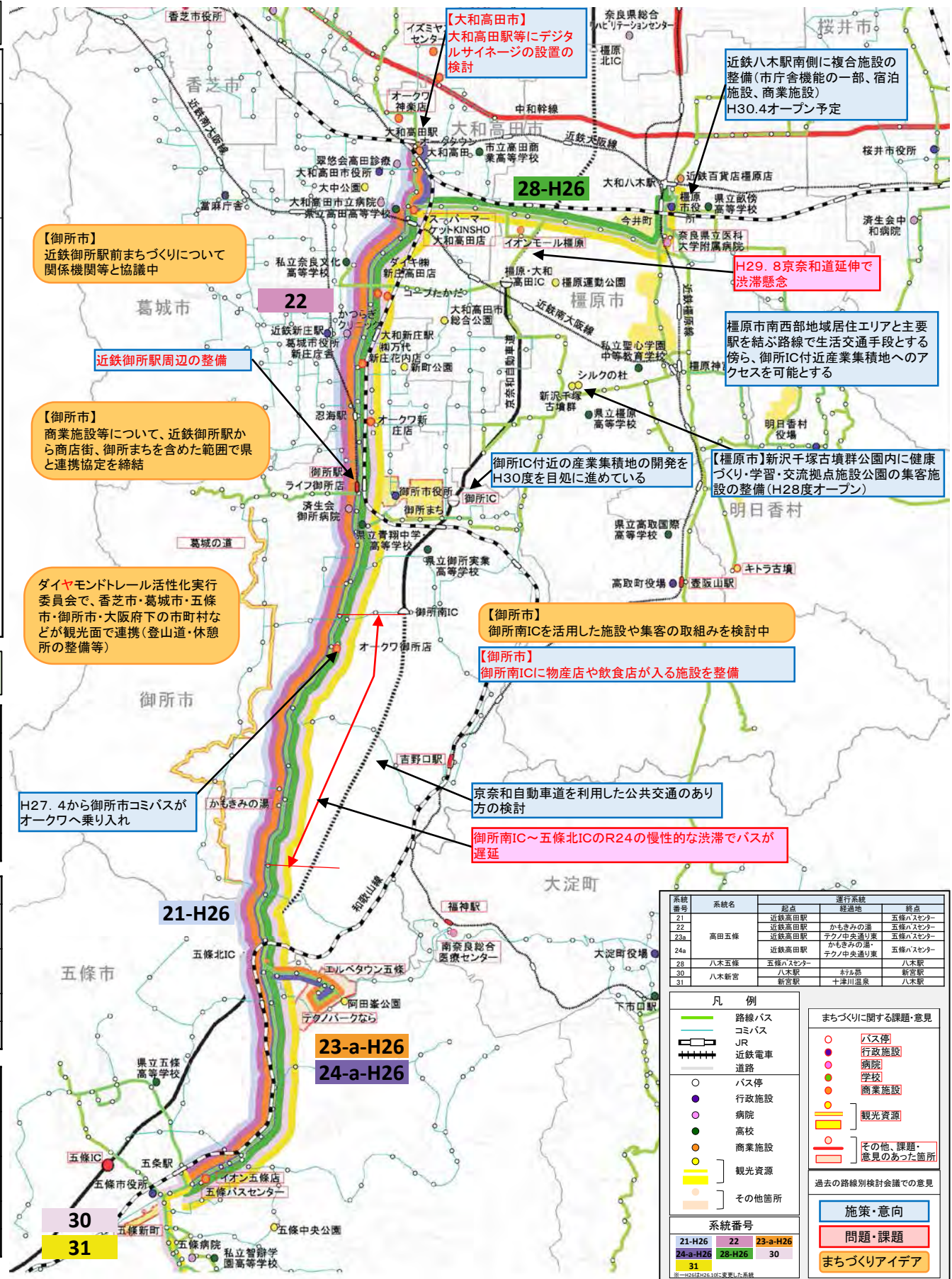
※H26はH26.10に変更した系統

### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	ダイヤモンドトレール等への観光による誘客 京奈和自動車道の活用や御所南IC周辺施設へのアクセス確保
関係市町村	大和高田市、橿原市、五條市、御所市、葛城市
主な沿線施設	大和高田駅、高田駅、高田市駅、大和新庄駅、忍海駅、御所駅、近鉄御所駅、五条駅、大和高田市役所、葛城市役所新庄庁舎、御所市役所、五條市役所、奈良県立医科大学附属病院、大和高田市立病院、済生会御所病院、五條病院、高田高校、奈良文化高校、青翔中学・高校、御所まち、五條新町、金剛山地、オークタウン大和高田、イオンモール橿原、スーパーセンターオークワ御所店、 <b>イオン五條店、ライフ御所店</b>
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 35.9%(H22)⇒35.9%(H32)      登校: 92.4%(H22)⇒92.4%(H32)      通院: 36.3%(H22)⇒36.3%(H32)</p> <p>買物(平日): 35.7%(H22)⇒35.7%(H32)      買物(休日): 20.6%(H22)⇒20.6%(H32)</p> <p>業務: 23.7%(H22)⇒29.0%(H32)      観光: 46.6%(H22)⇒46.6%(H32)</p> <p>■外出率: 78.4%(H22)⇒78.4%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>高田五條線: 144,206人(H26) ⇔ 大和高田市・五條市・御所市・葛城市: 162,693人(H26)</p> <p>八木五條線: 20,216人(H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市: 288,043人(H26)</p> <p>八木新宮線: 81,964人(H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村: 291,707人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>大和高田駅: 6,764,828人(H25) ⇔ 橿原市: 125,543人(H25)</p> <p>大和高田駅: 3,287,243人(H25) ⇔ 大和高田市・葛城市・広陵町: 136,258人(H25)</p> <p>近鉄御所駅: 818,164人(H25) ⇔ 御所市: 28,809人(H25)</p> <p>五条駅: 663,935人(H25) ⇔ 五條市・十津川村: 36,766人(H25)</p> <p>■鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>大和高田駅: 89.6%(H22)⇒89.6%(H32)      大和高田駅: 84.7%(H22)⇒84.7%(H32)</p> <p>近鉄御所駅: 74.9%(H22)⇒74.9%(H32)      五条駅: 67.0%(H22)⇒67.0%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

<p><b>事業①</b> 観光客の誘客に向けた検討</p> <p>実施内容 観光利用の家族連れなど、新たな客層の増加に向けた検討</p> <p>実施主体 関係市町村、奈良交通</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4～H33. 3</p>	<p><b>事業④</b> 路線運行費補助</p> <p>実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、高田五條線、八木新宮線の路線運行費を補助</p> <p>実施主体 奈良県</p> <p>実施効果 地域公共交通の維持</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)</p>	<p><b>事業⑦</b> 全国ICカード共通化</p> <p>実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応</p> <p>実施主体 奈良交通</p> <p>実施効果 利便性の向上 <b>済</b></p> <p>実施期間 H28. 4</p>
<p><b>事業②</b> 公共交通のあり方の検討</p> <p>実施内容 京奈和自動車道の整備を考慮した今後の公共交通のあり方を検討</p> <p>実施主体 関係市町村、国、奈良県、交通事業者</p> <p>実施効果 利便性の向上、ニーズの把握</p> <p>実施期間 H28. 4～H33. 3</p>	<p><b>事業⑤</b> ノンステップバスの導入</p> <p>実施内容 高田五條線、八木五條線、八木新宮線にノンステップバスを導入</p> <p>実施主体 奈良交通</p> <p>実施効果 バリアフリー化の促進</p> <p>実施期間 H28. 4～H33. 3</p>	<p><b>事業⑧</b> 公共交通の利用促進</p> <p>実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進</p> <p>実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者</p> <p>実施効果 公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>
<p><b>事業③</b> 路線バスを活用した沿線市町村のPR</p> <p>実施内容 八木新宮線に沿線市町村をPRするラッピングバスを導入</p> <p>実施主体 奈良交通</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3(H27. 11より実施)</p>	<p><b>事業⑥</b> 鉄道駅バリアフリー化</p> <p>実施内容 御所駅にスロープし段差を解消 大和高田駅及び橿原神宮前駅に内方線付点字ブロックを設置</p> <p>実施主体 近畿日本鉄道</p> <p>実施効果 バリアフリー化の促進</p> <p>実施期間 H29. 4 ~ H33. 3</p>	<p><b>事業⑨</b> 地域公共交通ネットワークの再編の検討</p> <p>実施内容 イオンモール橿原を拠点とした地域公共交通ネットワークの再編を検討</p> <p>実施主体 奈良県、橿原市、大和高田市、葛城市、広陵町、五條市、奈良交通</p> <p>実施効果 運行の効率化、利便性の向上</p> <p>実施期間 H29. 4 ~ H30. 3</p>



系統番号	系統名	起点	運行系統	終点
21	高田五條	近鉄高田駅	五條バスセンター	五條バスセンター
22		近鉄高田駅		かもきみの湯
23a		近鉄高田駅		テクノ中央通り東
24a		近鉄高田駅		かもきみの湯
28	八木五條	五條バスセンター	八木駅	八木駅
30		八木新宮		新宮駅
31	八木新宮	新宮駅	十津川温泉	八木駅

凡例	
—	路線バス
—	コミバス
—	JR
—	近鉄電車
—	道路
○	バス停
○	行政施設
○	病院
○	高校
○	商業施設
○	観光資源
○	その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見	
○	バス停
○	行政施設
○	病院
○	学校
○	商業施設
○	観光資源
○	その他、課題・意見のあった箇所

系統番号	
21-H26	22
23-a-H26	24-a-H26
28-H26	30
31	

### 実施事業

事業⑩	市内交通の再編検討
実施内容	コミュニティバスの再編やデマンド型交通の導入などを含め、全市的な公共交通網の見直しを検討
実施主体	御所市
実施効果	地域公共交通の維持、利便性の向上
実施期間	H29. 9 ~ H31. 3

事業⑪	標柱の再整備(多言語表記等の導入)の検討
実施内容	コミュニティバスの停留所をより分かりやすくするため、標柱を再整備あわせて多言語表記等の導入を検討
実施主体	大和高田市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H33. 3

事業⑫	情報表示装置の設置の検討
実施内容	コミュニティバスの主要停留所への情報表示装置の設置の検討 まずは大和高田市に隣接する民間商業施設等の開発状況を勘案しながら設置を検討
実施主体	大和高田市
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H33. 3

事業⑬	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑭	バス情報表示装置の設置
実施内容	大和八木駅、五位堂駅、イオンモール橿原へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑮	バス情報表示装置の設置
実施内容	県立医大病院へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑯	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	五条駅にエレベーターを設置し段差を解消
実施主体	西日本旅客鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H30. 4 ~ H33. 3

事業⑰	五條市デマンド交通の運行確保に向けた改善
実施内容	五條市デマンド交通の持続的な運行を確保するため、運行形態及び契約内容について検討・改善を実施
実施主体	五條市
実施効果	地域公共交通の維持・効率化
実施期間	H29. 4 ~ H30. 3

事業⑱	サイクルトレイン社会実験
実施内容	JR天理駅からJR五条駅間のサイクルトレイン社会実験の実施
実施主体	奈良県
実施効果	自転車利用の促進
実施期間	H29. 11 ~ H29. 12

事業⑲	バスロケーションシステムの活用
実施内容	葛城市コミュニティバスに導入したバスロケーションシステムについて、利用者への周知を図るとともに、遅延情報を把握・分析し、路線再編に活用
実施主体	葛城市
実施効果	利便性の向上、運行の効率化
実施期間	H29. 1 ~ H33. 3



系統番号	系統名	運行系統	経路	終点
21	高田五條	近鉄高田駅	かもきみの湯	五條バスセンター
22		近鉄高田駅	テクノ中央通り東	五條バスセンター
23a		近鉄高田駅	かもきみの湯	五條バスセンター
24a		近鉄高田駅	テクノ中央通り東	五條バスセンター
28	八木五條	五條バスセンター		八木駅
30	八木新宮	八木駅	新宮駅	八木駅
31		新宮駅	十津川温泉	八木駅

**凡例**

- 路線バス
- コミバス
- JR
- 近鉄電車
- 道路
- バス停
- 行政施設
- 病院
- 高校
- 商業施設
- 観光資源
- その他箇所

**まちづくりに関する課題・意見**

- バス停
- 行政施設
- 病院
- 学校
- 商業施設
- 観光資源
- その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見

**施策・意向**

**問題・課題**

**まちづくりアイデア**

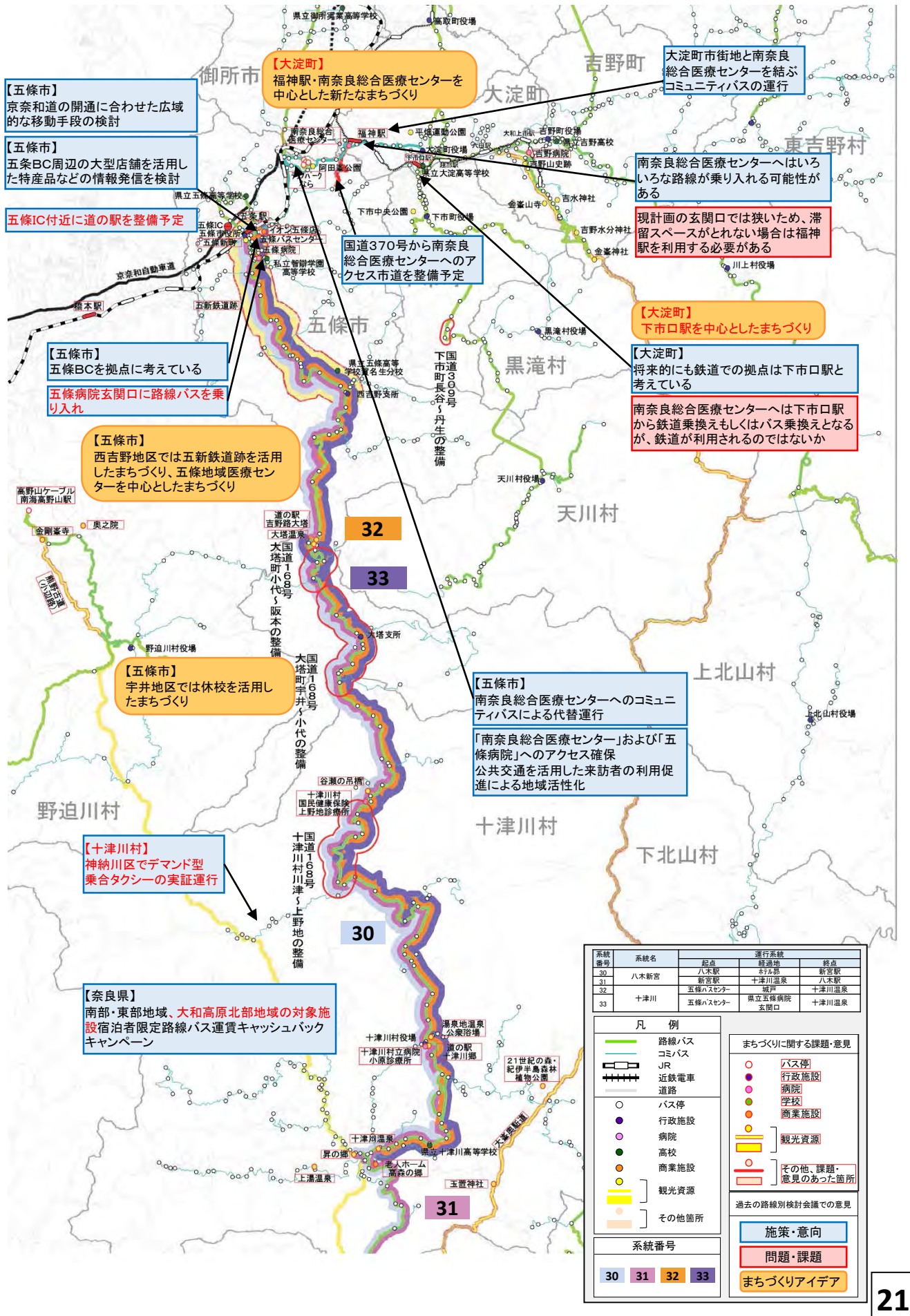
系統番号

21-H26 22 23-a-H26  
24-a-H26 28-H26 30  
31

路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	「南奈良総合医療センター」及び「五條病院」へのアクセス確保 公共交通を活用した来訪者の利用促進による地域活性化
関係市町村	五條市、野迫川村、十津川村、大淀町
主な沿線施設	五条駅、五條市役所、西吉野支所、大塔支所、十津川村役場、五條病院、五條高校、智辯学園中・高校、五條高校賀名生分校、十津川高校、五條新町、五新鉄道跡、大塔温泉、道の駅吉野路大塔、谷瀬の吊橋、湯泉地温泉、道の駅十津川郷、十津川温泉、イオン五條店、 <b>南奈良総合医療センター</b>
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 14.2%(H22)⇒14.2%(H32)    登校: 88.1%(H22)⇒89.3%(H32)    通院: 25.8%(H22)⇒25.8%(H32)</p> <p>買物(平日): 17.8%(H22)⇒17.8%(H32)    買物(休日): 13.2%(H22)⇒24.1%(H32)</p> <p>業務: 9.2%(H22)⇒9.2%(H32)    観光: 44.8%(H22)⇒56.1%(H32)</p> <p>■外出率: 72.0%(H22)⇒72.0%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>八木新宮線: 81,964人(H26) ⇔ 大和高田市・橿原市・五條市・御所市・葛城市・十津川村: 291,707人(H26)</p> <p>十津川線: 17,065人(H26) ⇔ 五條市・十津川村: 36,014人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する幹線バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>五条駅: 663,935人(H25) ⇔ 五條市・十津川村: 36,766人(H25)</p> <p>福神駅: 425,846人(H25) ⇔ 五條市・大淀町: 51,559人(H25)</p> <p>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>五条駅: 67.0%(H22)⇒67.0%(H32)    福神駅: 60.0%(H22)⇒97.5%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

<p><b>事業①</b> 南奈良総合医療センター通院ラインの運行</p> <p>実施内容 南奈良総合医療センターの開院にあわせて、五條BC～医療センター～福神駅のコミュニティバスを運行し、五條BC乗換による南部からの病院アクセスを確保</p> <p>実施主体 五條市</p> <p>実施効果 病院アクセスの確保</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p><b>事業⑤</b> 路線バスとコミュニティバスの連携</p> <p>実施内容 コミュニティバスと路線バスの円滑な乗継の確保</p> <p>実施主体 奈良交通、五條市、野迫川村、十津川村</p> <p>実施効果 病院アクセスの確保、利便性の向上</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p><b>事業⑧</b> 車両購入費補助</p> <p>実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木新宮線を走行するノンステップバスの購入費等を補助</p> <p>実施主体 奈良県</p> <p>実施効果 バリアフリー化の促進</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H29. 9</p>
<p><b>事業②</b> 大型店舗を活用した情報発信の検討</p> <p>実施内容 五條BC周辺の大規模店舗を活用した特産品などの情報発信の検討</p> <p>実施主体 五條市</p> <p>実施効果 公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p><b>事業⑥</b> 南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン 路線バスを活用した冬期誘客促進事業</p> <p>実施内容 奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成</p> <p>実施主体 奈良県</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 12 ~ H29. 3 H29. 12 ~ H30. 3</p>	<p><b>事業⑨</b> 全国ICカード共通化</p> <p>実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応</p> <p>実施主体 奈良交通</p> <p>実施効果 利便性の向上 <b>済</b></p> <p>実施期間 H28. 4</p>
<p><b>事業③</b> 広域的な移動手段の検討</p> <p>実施内容 京奈和自動車道の開通に合わせた広域的な移動手段の検討</p> <p>実施主体 五條市</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、利便性の向上</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>	<p><b>事業⑦</b> 路線運行費補助</p> <p>実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、八木新宮線、十津川線の路線運行費を補助</p> <p>実施主体 奈良県</p> <p>実施効果 地域公共交通の維持</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)</p>	<p><b>事業⑩</b> コミュニティバスの再編</p> <p>実施内容 南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編無償の福祉バスを有償のコミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーに再編し運行 病院アクセスの確保を含め、運行内容を継続的に検討</p> <p>実施主体 大淀町</p> <p>実施効果 病院アクセスの確保、利便性の向上</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3</p>
<p><b>事業④</b> 路線バスを活用した沿線市町村のPR</p> <p>実施内容 八木新宮線に沿線市町村をPRするラッピングバスを導入</p> <p>実施主体 奈良交通</p> <p>実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加</p> <p>実施期間 H28. 4 ~ H33. 3(H27. 11より実施)</p>		



系統番号	系統名	起点	経路	終点
30	八木新宮	八木駅	経路地	新宮駅
31	新宮	新宮駅	十津川温泉	八木駅
32	十津川	五條バスセンター	福神	十津川温泉
33	十津川	五條バスセンター	東立五條病院 玄関口	十津川温泉

凡例	まちづくりに関する課題・意見
路線バス	バス停
コミュニティバス	行政施設
JR	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	高校
病院	商業施設
高校	その他、課題・意見のあった箇所
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

系統番号	30	31	32	33
施策・意向	青	青	青	青
問題・課題	赤	赤	赤	赤
まちづくりアイデア	黄	黄	黄	黄

### 実施事業

事業⑪	市道の整備
実施内容	国道370号から南奈良総合医療センターへのアクセス道路を整備
実施主体	五條市
実施効果	南奈良総合医療センターへのアクセス利便性向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑫	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑬	デマンド型乗合タクシー実証運行
実施内容	村営バスを補完するため東区東部と十津川温泉方面及び新宮市方面を結ぶデマンド型乗合タクシーを運行 H29. 10より神納川区にエリア拡大
実施主体	十津川村
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H30. 3(H26. 10より実施)

事業⑭	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

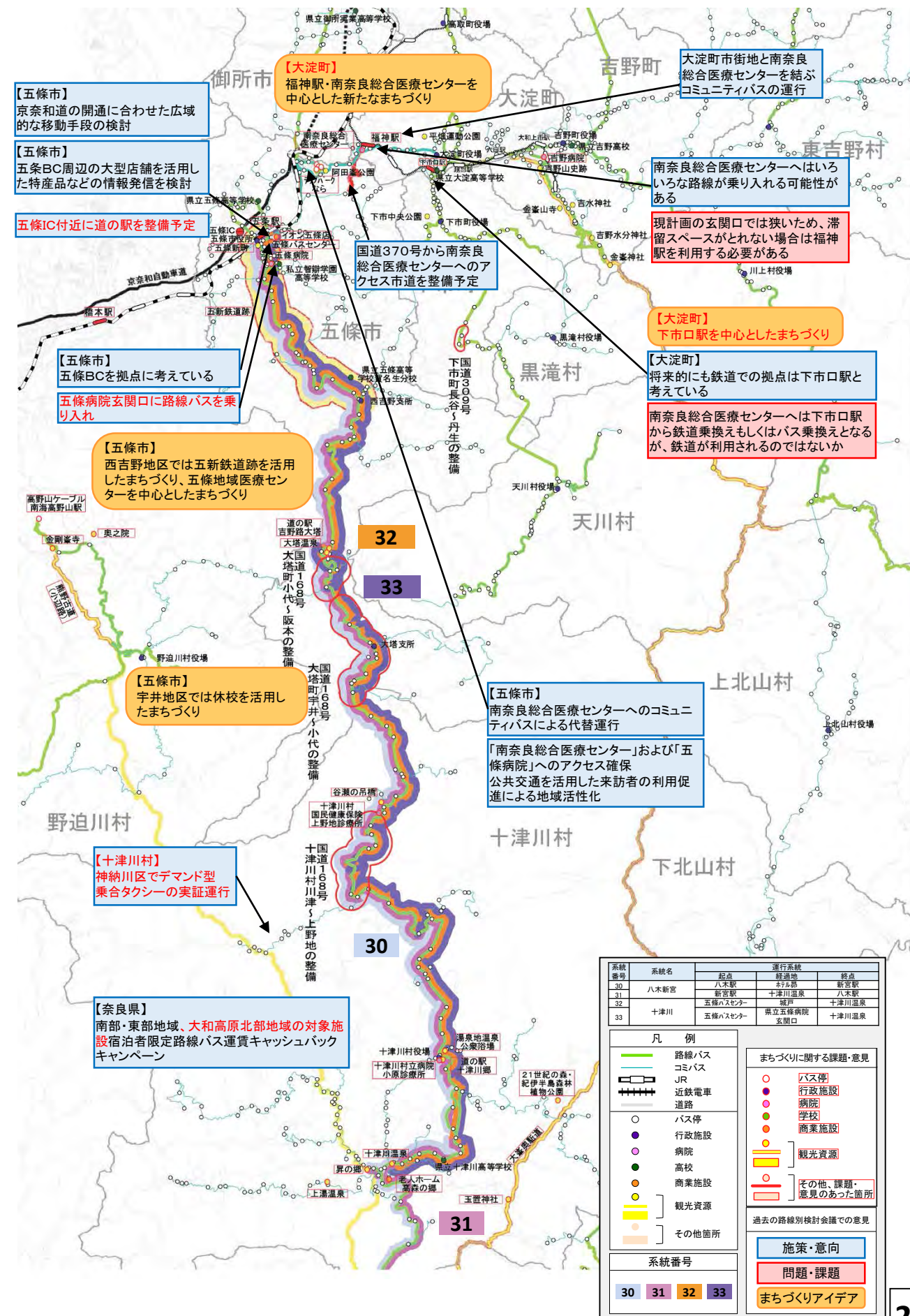
事業⑮	地域公共交通ネットワークの再編の検討
実施内容	イオンモール橿原を拠点とした地域公共交通ネットワークの再編を検討
実施主体	奈良県、橿原市、大和高田市、葛城市、広陵町、五條市、奈良交通
実施効果	運行の効率化、利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H30. 3

事業⑯	十津川線の再編
実施内容	運行ダイヤの見直し、五條病院及び智辯学園への乗り入れ
実施主体	奈良交通
実施効果	運行の効率化、利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H33. 3

事業⑰	鉄道駅バリアフリー化
実施内容	五條駅にエレベーターを設置し段差を解消
実施主体	西日本旅客鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H31. 4 ~ H33. 3

事業⑱	交通パスポートの試験導入
実施内容	村内を200円で移動できる「交通パスポート」の試験導入
実施主体	十津川村
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H29. 6 ~ H30. 3

事業⑲	五條市デマンド交通の運行確保に向けた改善
実施内容	五條市デマンド交通の持続的な運行を確保するため、運行形態及び契約内容について検討・改善を実施
実施主体	五條市
実施効果	地域公共交通の維持・効率化
実施期間	H29. 4 ~ H30. 3



系統番号	系統名	起点	経過地	終点
30	八木新宮	八木駅	ホテル部	新宮駅
31	新宮	新宮	十津川温泉	八木駅
32	十津川	五條バスセンター	泉	十津川温泉
33	十津川	五條バスセンター	東立五條病院 玄関口	十津川温泉

凡例	まちづくりに関する課題・意見
路線バス	バス停
コミュニティバス	行政施設
JR	病院
近鉄電車	学校
道路	商業施設
バス停	観光資源
行政施設	その他、課題・意見のあった箇所
病院	
高校	
商業施設	
観光資源	
その他箇所	

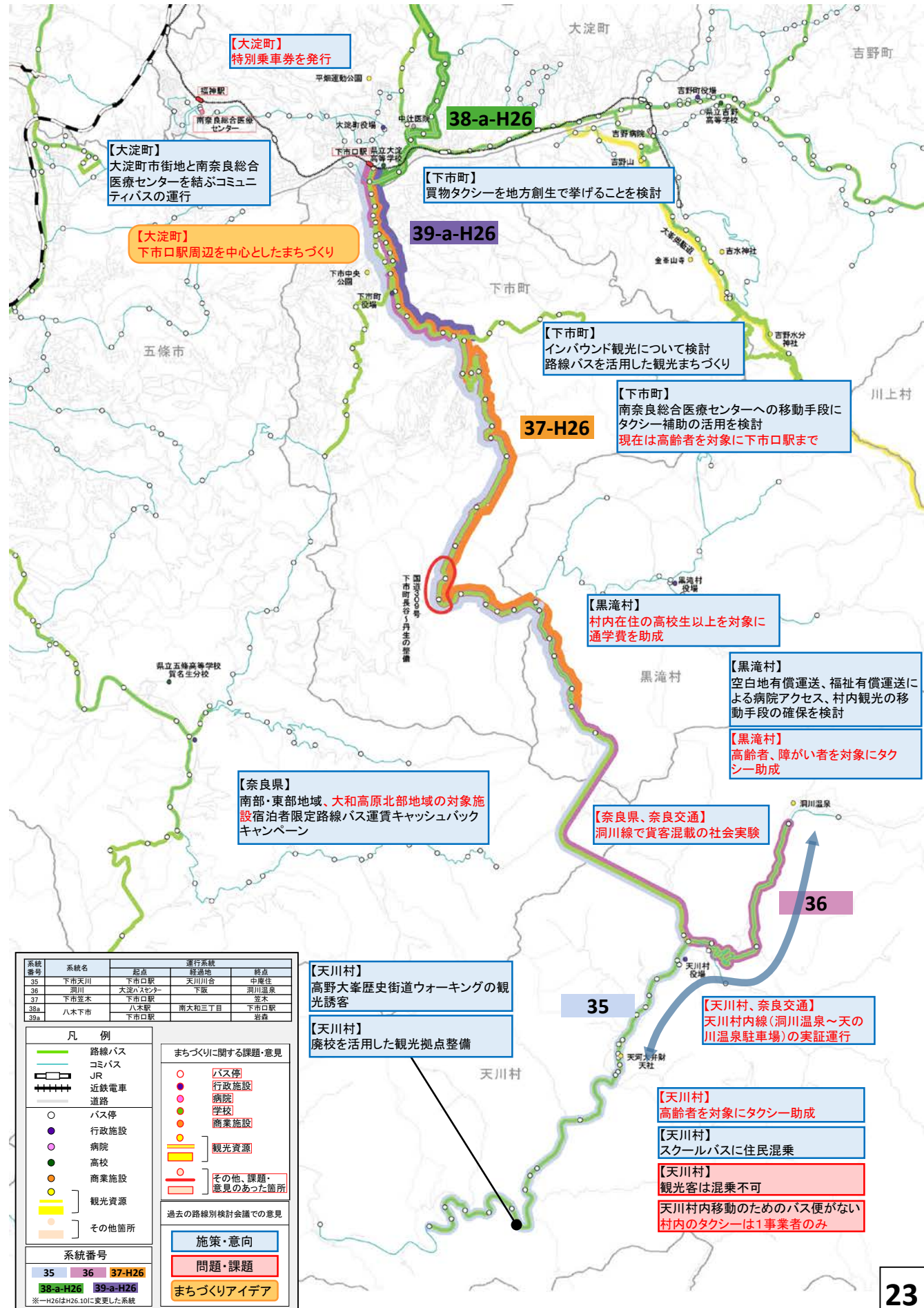
系統番号	30 31 32 33
施策・意向	問題・課題
まちづくりアイデア	

### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「南奈良総合医療センター」及び「福神駅」へのアクセス確保 洞川温泉等の観光による誘客
関係市町村	大淀町、下市町、黒滝村、天川村
主な沿線施設	下市口駅、下市町役場、天川村役場、大淀高校、洞川温泉、天河大弁財天社、大峯奥駈道、 <b>天の川温泉</b>
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 18.2%(H22)⇒18.2%(H32)      登校: 88.5%(H22)⇒88.5%(H32)      通院: 16.9%(H22)⇒20.5%(H32)</p> <p>買物(平日): 15.4%(H22)⇒15.4%(H32)      買物(休日): 12.0%(H22)⇒12.0%(H32)</p> <p>業務: 18.7%(H22)⇒31.6%(H32)      観光: 20.0%(H22)⇒20.0%(H32)</p> <p>■外出率: 74.5%(H22)⇒77.4%(H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>下市天川線: 20,040人(H26) ⇔ 下市町・黒滝村・天川村: 8,427人(H26)</p> <p>洞川線: 25,703人(H26) ⇔ 下市町・黒滝村・天川村: 8,427人(H26)</p> <p>下市笠木線: 2,268人(H26) ⇔ 下市町・黒滝村: 7,044人(H26)</p> <p>八木下市線: 34,115人(H26) ⇔ 下市町: 6,294人(H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>下市口駅: 658,169人(H25) ⇔ 大淀町・下市町・黒滝村・天川村: 27,296人(H25)</p> <p>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>下市口駅: 56.4%(H22)⇒56.4%(H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

事業①	コミュニティバスの再編	事業④	高野大峯歴史街道ウォーキング	事業⑦	南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン 路線バスを活用した冬期誘客促進事業
実施内容	南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編 <b>無償の福祉バスを有償のコミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーに再編し運行</b> <b>病院アクセスの確保を含め、運行内容を継続的に検討</b>	実施内容	五條市阪本から天川村中庵住までウォーキングコースを設定し、下市天川線の利用を促進	実施内容	奈良県南部・東部地域、 <b>大和高原北部地域の対象施設</b> 宿泊者に、路線バスの運賃を助成
実施主体	大淀町	実施主体	天川村、近畿日本鉄道、奈良交通	実施主体	奈良県
実施効果	病院アクセスの確保、利便性の向上	実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4 ~ H33. 3 ( <b>H28. 3より実施</b> )	実施期間	H28. 12 ~ H29. 3 H29. 12 ~ H30. 3
事業②	公共交通空白地有償運送の導入	事業⑤	廃校を活用した観光拠点整備	事業⑧	全国ICカード共通化
実施内容	公共交通空白地有償運送により、路線バスと乗換え可能な道の駅等への村内の移動手段を確保	実施内容	バス停近くの廃校を活用し、観光拠点を整備	実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	黒滝村(社会福祉協議会)	実施主体	天川村	実施主体	奈良交通
実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加	実施効果	利便性の向上 <b>済</b>
実施期間	H28. 4 ~ H32. 3	実施期間	H28. 4 ~ H33. 3	実施期間	H28. 4
事業③	福祉有償運送の導入	事業⑥	路線運行費補助	事業⑨	公共交通の利用促進
実施内容	福祉有償運送により、病院へのアクセス手段を確保	実施内容	奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、洞川線、下市天川線の路線運行費を補助	実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	黒滝村(社会福祉協議会)	実施主体	奈良県	実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	病院アクセスの確保	実施効果	バス路線の維持	実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H32. 3	実施期間	H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)	実施期間	H28. 4 ~ H33. 3
事業⑩	鉄道駅のバリアフリー化				
実施内容	下市口駅にスロープを設置し段差を解消				
実施主体	近畿日本鉄道				
実施効果	バリアフリー化の促進				
実施期間	H31. 4 ~ H33. 3				



系統番号	系統名	起点	通過地	運行系統	終点
35	下市天川	下市口駅	天川川谷	天川川谷	中庵住
36	洞川	大淀バスセンター	下飯	下飯	洞川温泉
37	下市笠木	下市口駅			笠木
38a		八木駅		南大和三丁目	下市口駅
39a		八木下市			岩瀬

凡 例	
—	路線バス
—	コミバス
—	JR
—	近鉄電車
—	道路
○	バス停
○	行政施設
○	病院
○	学校
○	商業施設
○	観光資源
○	その他、課題・意見のあった箇所

過去の路線別検討会議での意見	
■	施策・意向
■	問題・課題
■	まちづくりアイデア

系統番号	
35	36
37-H26	38-a-H26
39-a-H26	

※H26はH26.10に変更した系統

### 実施事業

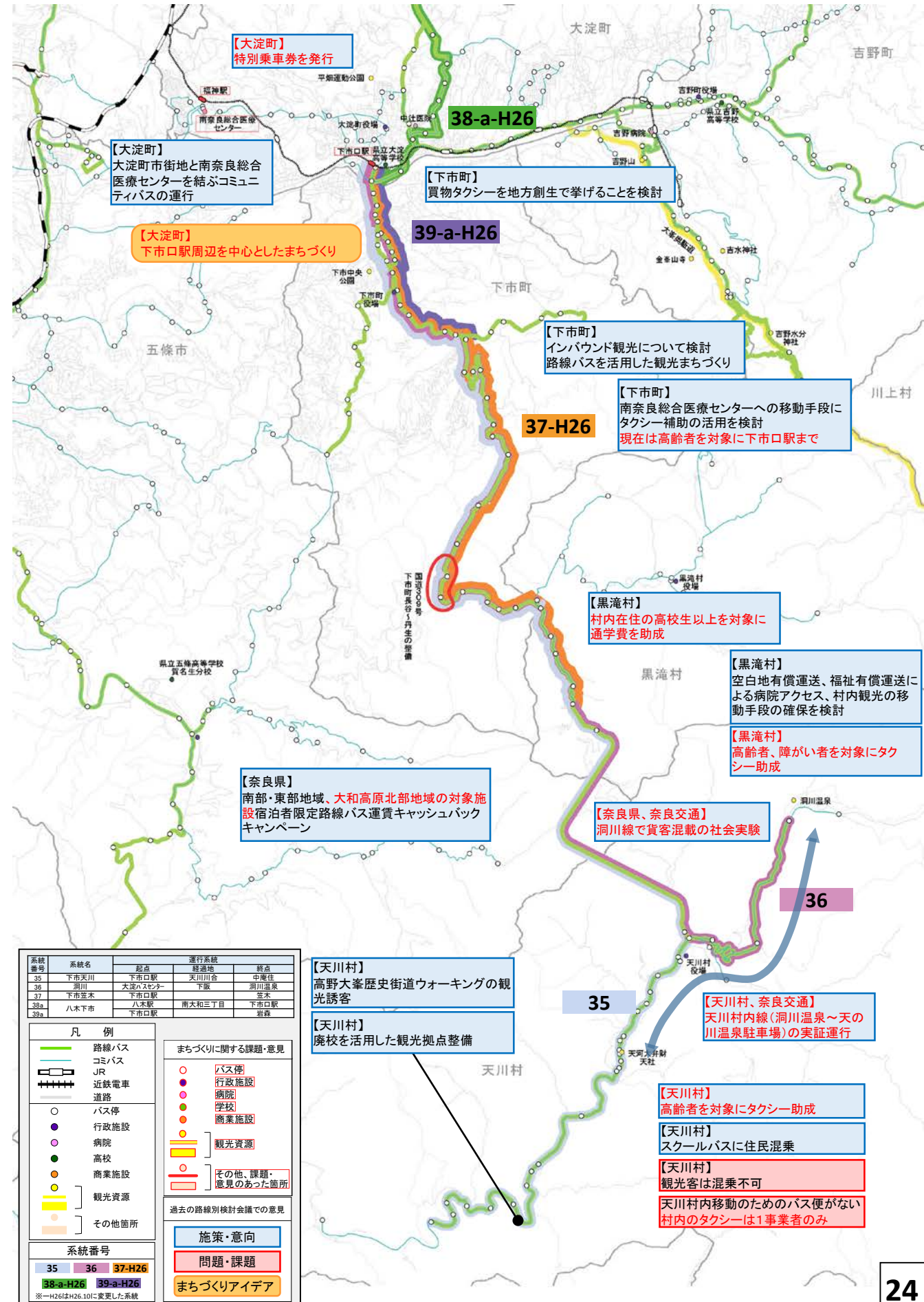
事業⑪	村内移動手段の実証運行
実施内容	村内の主要観光地である洞川温泉と天川大弁財天社などをつなぐ路線バスの実証運行
実施主体	天川村、奈良交通
実施効果	周遊観光実現による観光活性化
実施期間	H29. 7 ~ H29. 11

事業⑫	貨客混載の導入検討
実施内容	奈良交通洞川線で貨客混載の導入検討のため社会実験を実施
実施主体	奈良県、奈良交通
実施効果	バスの生産性の向上、物流網の効率化
実施期間	H29. 10 ~ H30. 3

事業⑬	地域公共交通ネットワークの再編の検討
実施内容	下市天川線、洞川線を基幹とした地域公共交通ネットワークの再編を検討
実施主体	奈良県、大淀町、下市町、黒滝村、天川村、奈良交通
実施効果	運行の効率化、利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H30. 3

事業⑭	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑮	特別乗車券の導入
実施内容	町内路線バスが100円で乗車できる特別乗車券の導入
実施主体	大淀町
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

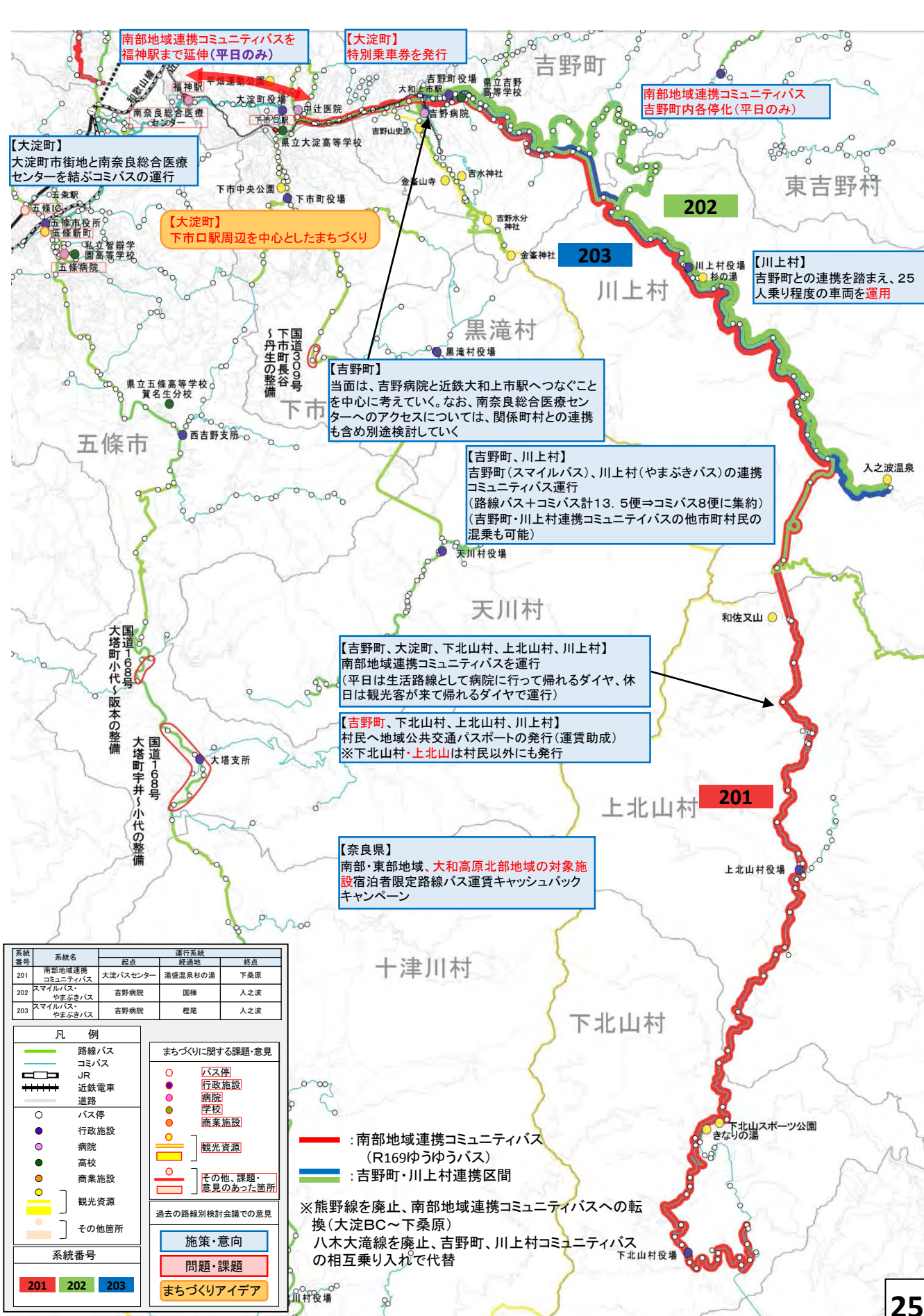




路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	隣接町村間の広域連携による生活交通・観光交通の確保 (「南奈良総合医療センター」及び「大和上市駅」へのアクセス確保)
関係市町村	吉野町、大淀町、下北山村、上北山村、川上村、東吉野村
主な沿線施設	大和上市駅、大淀バスセンター、吉野町役場、下北山村役場、上北山村役場、川上村役場、吉野病院、吉野高校、きなの湯、下北山スポーツ公園、和佐又山、杉の湯、大峯奥駈道、入之波温泉
評価指標	<b>交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 出勤: 17.3%(H22)⇒17.3%(H32)      登校: 89.7%(H22)⇒89.7%(H32)      通院: 17.7%(H22)⇒21.3%(H32) 買物(平日): 15.2%(H22)⇒15.2%(H32)      買物(休日): 10.3%(H22)⇒10.3%(H32) 業務: 18.8%(H22)⇒31.7%(H32)      観光: 23.5%(H22)⇒23.5%(H32)
	<b>外出率: 70.8%(H22)⇒73.6%(H32)</b>
	<b>バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</b> 南部地域連携コミュニティバス: 17,792人(H26) ⇔ 吉野町・大淀町・下北山村・上北山村・川上村: 29,000人(H26)
	<b>鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</b> 大和上市駅: 131,509人(H25) ⇔ 吉野町・下北山村・上北山村・川上村: 11,094人(H25)
	<b>鉄道駅の端末交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 大和上市駅: 59.7%(H22)⇒59.7%(H32)
	<b>公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</b>

### 実施事業

<b>事業①</b> 25人乗りバスの運行 実施内容: 吉野町との連携を踏まえ、平成27年度に購入した、25人乗り程度の車両を運用 実施主体: 川上村 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業④</b> 地域公共交通バスポートの発行(運賃補助) 実施内容: 南部地域連携コミュニティバスの利用者に対し運賃を助成 実施主体: 吉野町、下北山村、上北山村、川上村 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3(H27. 10より実施)	<b>事業⑦</b> 南部・東部地域宿泊者限定路線バス運賃キャッシュバックキャンペーン <b>路線バスを活用した冬期誘客促進事業</b> 実施内容: 奈良県南部・東部地域、大和高原北部地域の対象施設宿泊者に、路線バスの運賃を助成 実施主体: 奈良県 実施効果: 来訪者数の増加、宿泊者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 12 ~ H29. 3 H29. 12 ~ H30. 3
<b>事業②</b> 南部地域連携コミュニティバス(R169ゆゆうバス)の運行 実施内容: 路線バス熊野線の代替として、南部地域連携コミュニティバス(大淀BC～杉の湯～下桑原)を運行 H29. 4より平日のみ大淀BC～南奈良総合医療センター～福神駅間で延伸 実施主体: 南部地域公共交通活性化協議会 実施効果: 来訪者数の増加、利便性の向上 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3(H27. 10より実施)	<b>事業⑤</b> 新たな路線バスの運行 実施内容: 観光地を経由し、吉野下千本駐車場と大和八木駅を結ぶ路線バスを多客期に運行 実施主体: 吉野大峯ケーブル自動車 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3(H27. 11より実施)	<b>事業⑧</b> 路線運行費補助 実施内容: 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、南部地域連携コミュニティバスの路線運行費を補助 実施主体: 奈良県 実施効果: 地域公共交通の維持 実施期間: H28. 4 ~ H29. 9(毎年PDCA)
<b>事業③</b> コミュニティバスのPR 実施内容: 南部地域連携コミュニティバスを各町村のホームページで案内、奈良交通のチラシによりPR 実施主体: 南部地域公共交通活性化協議会、奈良交通 実施効果: 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3(H27. 10より実施)	<b>事業⑥</b> コミュニティバスの再編 実施内容: 南奈良総合医療センターの開院にあわせて、コミュニティバスを再編 無償の福祉バスを有償のコミュニティバス及びデマンド型乗合タクシーに再編し運行 病院アクセスの確保を含め、運行内容を継続的に検討 実施主体: 大淀町 実施効果: 病院アクセスの確保、利便性の向上 実施期間: H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑨</b> 全国ICカード共通化 実施内容: SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体: 奈良交通 実施効果: 利便性の向上 <b>済</b> 実施期間: H28. 4

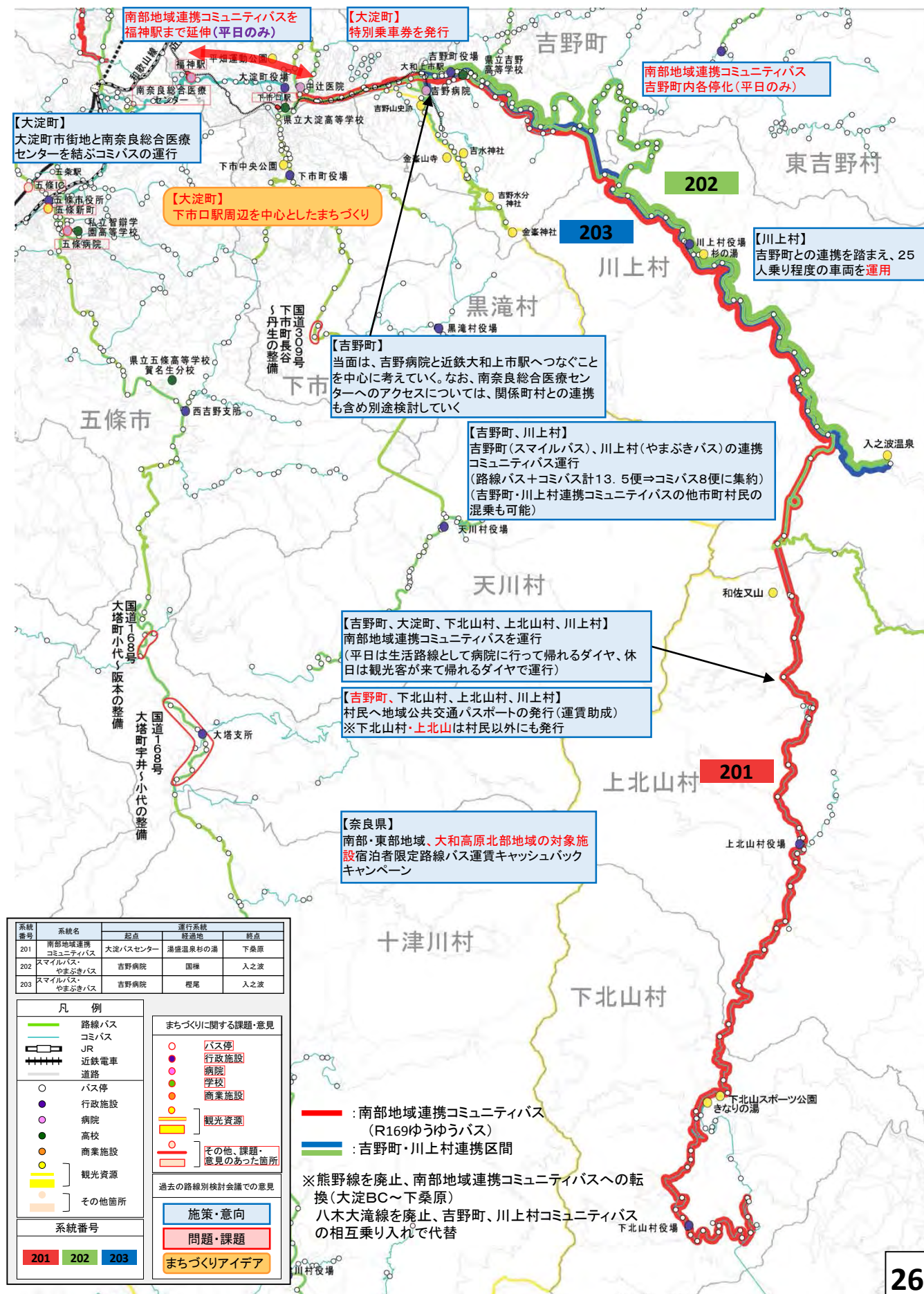


### 実施事業

事業⑩	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

事業⑪	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑫	特別乗車券の導入
実施内容	町内路線バスが100円で乗車できる特別乗車券の導入
実施主体	大淀町
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3



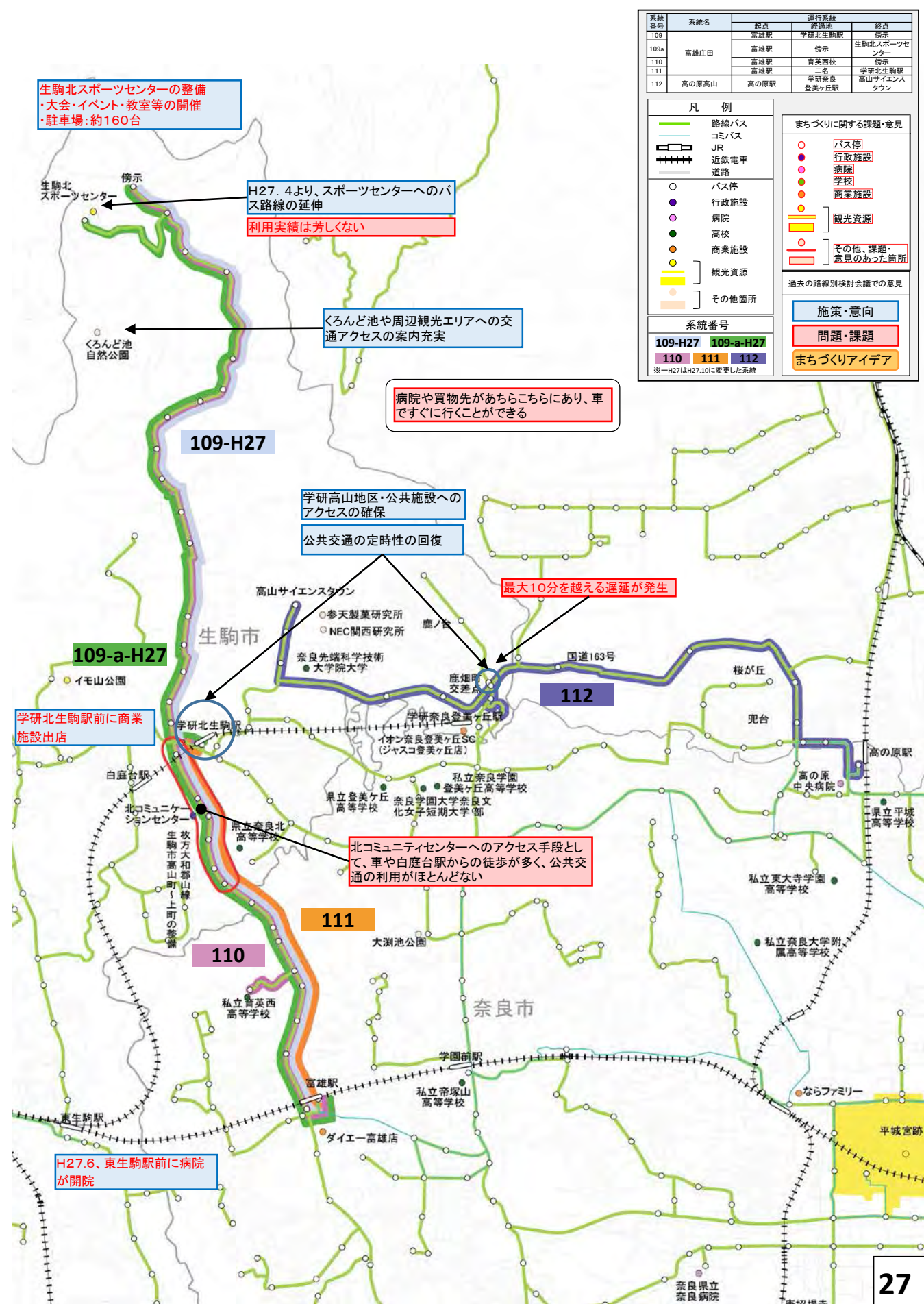
### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	渋滞の解消による公共交通の定時性の回復 学研高山地区・公共施設へのアクセスの確保
関係市町村	奈良市、生駒市
主な沿線施設	学研奈良登美ヶ丘駅、学研北生駒駅、富雄駅、高の原駅、北コミュニティセンター、育英西高校、奈良北高校、奈良先端科学技術大学院大学、生駒北スポーツセンター、くろんど池
評価指標	<p>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>出勤: 54.6% (H22) ⇒ 55.3% (H32)      登校: 92.1% (H22) ⇒ 92.1% (H32)      通院: 44.7% (H22) ⇒ 44.7% (H32)</p> <p>買物(平日): 46.8% (H22) ⇒ 46.8% (H32)      買物(休日): 28.3% (H22) ⇒ 28.3% (H32)</p> <p>業務: 33.0% (H22) ⇒ 38.1% (H32)      観光: 61.3% (H22) ⇒ 67.6% (H32)</p> <p>■外出率: 79.6% (H22) ⇒ 79.6% (H32)</p> <p>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</p> <p>富雄庄田線: 166,782人 (H26) ⇔ 奈良市西部・生駒市: 352,045人 (H26)</p> <p>高の原高山線: 63,835人 (H26) ⇔ 奈良市西部・生駒市: 352,045人 (H26)</p> <p>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</p> <p>高の原駅: 7,257,037人 (H25) ⇔ 奈良市中部・生駒市: 283,490人 (H25)</p> <p>学研北生駒駅: 1,265,971人 (H25) ⇔ 生駒市: 119,411人 (H25)</p> <p>学研奈良登美ヶ丘駅: 2,453,808人 (H25) ⇔ 奈良市西部・生駒市: 351,467人 (H25)</p> <p>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</p> <p>高の原駅: 86.0% (H22) ⇒ 89.7% (H32)      学研北生駒駅: 72.5% (H22) ⇒ 72.5% (H32)</p> <p>学研奈良登美ヶ丘駅: 81.6% (H22) ⇒ 81.6% (H32)</p> <p>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</p>

### 実施事業

事業①	渋滞の解消に向けた検討
実施内容	渋滞によりバスの遅延が発生している箇所について、渋滞の解消に向けて検討
実施主体	国、奈良県、奈良市、生駒市、奈良県警察
実施効果	渋滞の解消、利便性の向上、公共交通の定時性の回復
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3
事業②	ノンステップバスの導入
実施内容	富雄庄田線、高の原高山線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3
事業③	鉄道駅のバリアフリー化
実施内容	高の原駅に内方線付点字ブロックを設置
実施主体	近畿日本鉄道
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H29. 4 ~ H33. 3
事業④	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上 <b>済</b>
実施期間	H28. 4

事業⑤	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3
事業⑥	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3
事業⑦	バス情報表示装置の設置
実施内容	学研奈良登美ヶ丘駅、学園前駅、富雄駅、生駒駅、東生駒駅、高の原駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3



### 路線・地域の概要

まちづくりの方向性	「奈良県総合医療センター」、大規模商業施設へのアクセス等、生活交通の確保
関係市町村	奈良市、大和郡山市
主な沿線施設	近鉄郡山駅、大和郡山市役所、奈良リハビリテーション病院、郡山高校、イオンタウン富雄南
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>出勤: 51.1%(H22)⇒51.8%(H32)      登校: 92.4%(H22)⇒92.4%(H32)      通院: 45.7%(H22)⇒45.7%(H32)</li> <li>買物(平日): 45.9%(H22)⇒45.9%(H32)      買物(休日): 26.9%(H22)⇒26.9%(H32)</li> <li>業務: 32.0%(H22)⇒37.1%(H32)      観光: 60.8%(H22)⇒67.3%(H32)</li> </ul> </li> <li>■外出率: 79.5%(H22)⇒79.5%(H32)</li> <li>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]                     <ul style="list-style-type: none"> <li>郡山若草台線: 47,007人(H26) ⇔ 奈良市西部・大和郡山市: 319,715人(H26)</li> </ul> </li> <li>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]                     <ul style="list-style-type: none"> <li>近鉄郡山駅: 3,723,404人(H25) ⇔ 奈良市中部・大和郡山市・斑鳩町: 279,359人(H25)</li> </ul> </li> <li>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>近鉄郡山駅: 87.4%(H22)⇒87.4%(H32)</li> </ul> </li> <li>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</li> </ul>

### 実施事業

事業①	「新奈良県総合医療センター」へのアクセス路線の検討 「新奈良県総合医療センター」開設に伴うバス路線の再編
実施内容	新奈良県総合医療センター開院時に、西ノ京駅や近鉄郡山駅からバス路線を運行、また近鉄奈良線沿線からのバス路線を検討 新奈良県総合医療センターを拠点としたバス路線の再編(西ノ京駅、近鉄郡山駅、学園前駅からのバスアクセスを確保)
実施主体	奈良交通
実施効果	病院アクセスの確保
実施期間	H28. 4 ~ H28. 12 H30. 春期

事業④	全国ICカード共通化
実施内容	SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上 <b>済</b>
実施期間	H28. 4
事業⑤	公共交通の利用促進
実施内容	県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進
実施主体	県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者
実施効果	公共交通利用者数の増加
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3

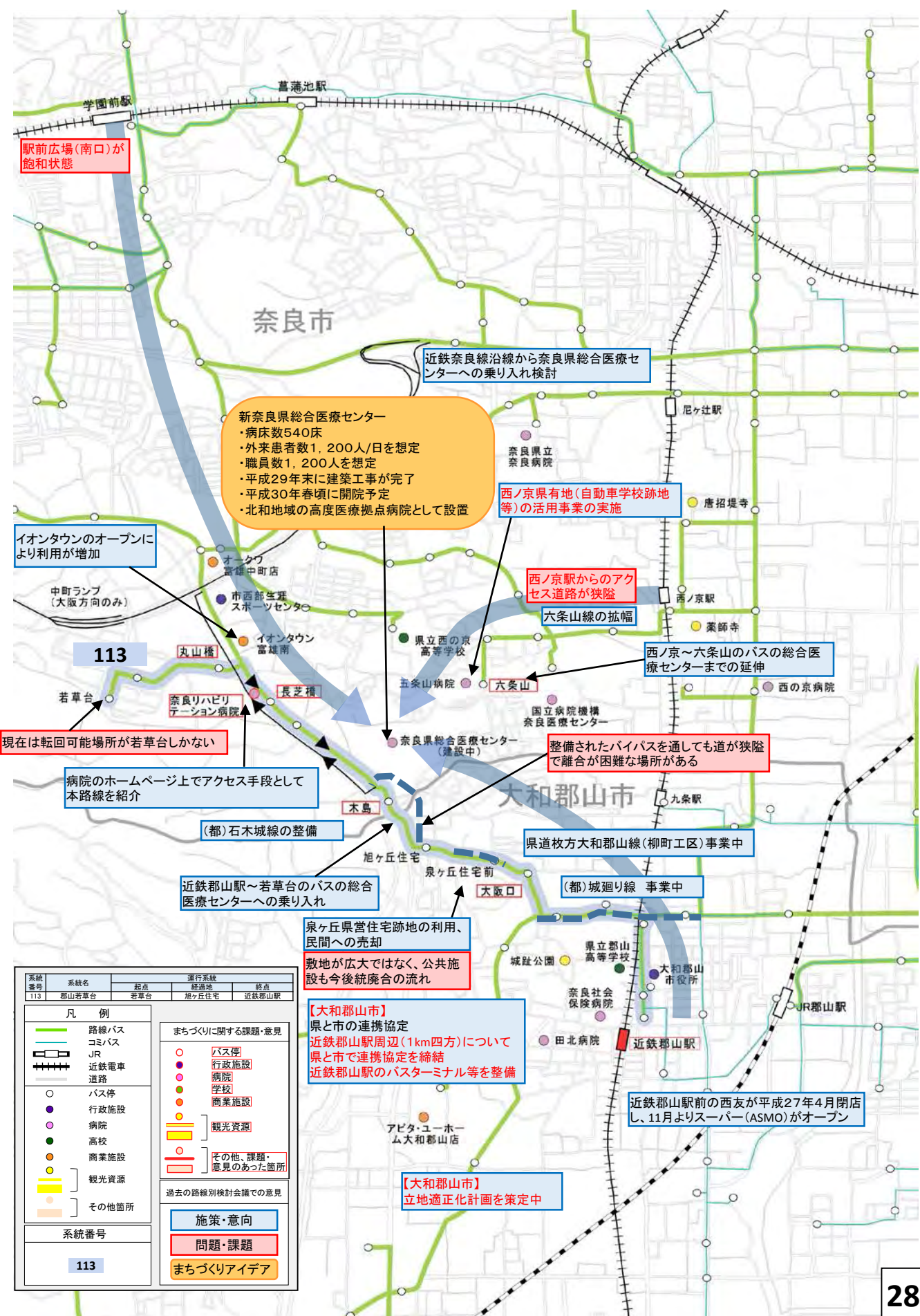
事業⑧	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄郡山駅、学園前駅へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3
事業⑨	(仮称)中町「道の駅」の整備
実施内容	(仮称)中町「道の駅」の整備に向けた検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3 (H23. 4より実施)

事業②	(仮称)近鉄郡山駅周辺地区まちづくり事業
実施内容	県と市のまちづくり連携協定の取組として、近鉄郡山駅周辺地区においてまちづくり事業を推進、あわせてバスターミナルの整備等を予定
実施主体	奈良県、大和郡山市
実施効果	バリアフリー化の促進、利便性の向上
実施期間	H28. 4 ~ H33. 3(H27. 4より実施)

事業⑥	バスロケーションシステムの導入
実施内容	奈良交通路線バスの全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供
実施主体	利便性の向上
実施効果	奈良交通
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業③	ノンステップバスの導入
実施内容	郡山若草台線にノンステップバスを導入
実施主体	奈良交通
実施効果	バリアフリー化の促進
実施期間	H30. 3 ~ H33. 3

事業⑦	バス情報表示装置の設置
実施内容	新奈良県総合医療センターへのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 春期

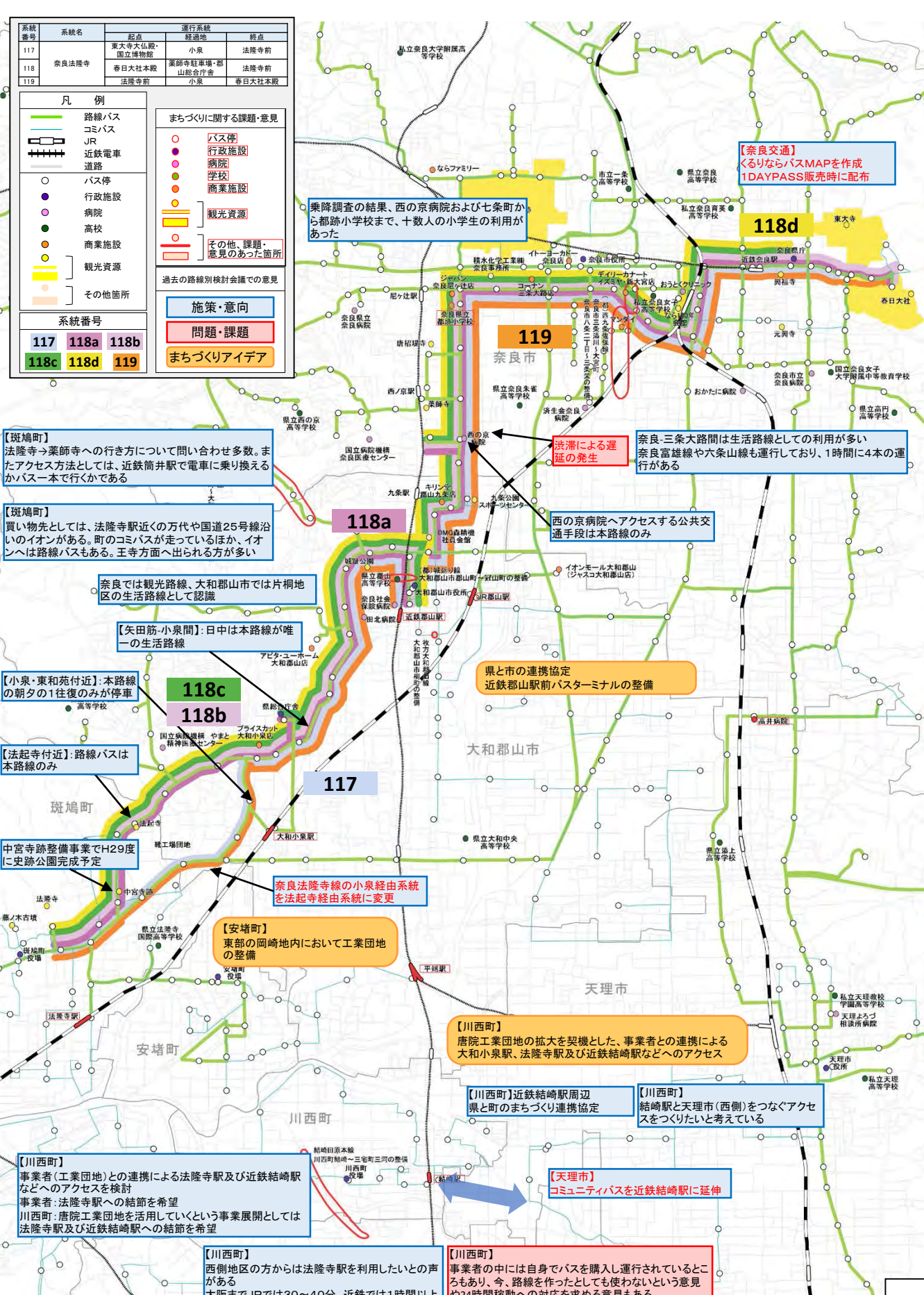




路線・地域の概要	
まちづくりの方向性	唐院工業団地の拡大を契機とした、事業者との連携による大和小泉駅、法隆寺駅及び近鉄結崎駅などへのアクセスバスを利用した観光振興
関係市町村	奈良市、大和郡山市、斑鳩町、安堵町、川西町
主な沿線施設	近鉄奈良駅、奈良駅、近鉄郡山駅、大和小泉駅、奈良県庁、県総合庁舎、斑鳩町役場、西の京病院、奈良女子高校、郡山高校、興福寺、なら100年会館、唐招提寺、薬師寺、法隆寺、中宮寺跡
評価指標	<b>■交通手段別分担率(公共交通(鉄道+バス)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 出勤: 50.5% (H22) ⇒ 50.9% (H32)    登校: 92.6% (H22) ⇒ 92.6% (H32)    通院: 45.7% (H22) ⇒ 45.7% (H32) 買物(平日): 45.8% (H22) ⇒ 45.8% (H32)    買物(休日): 26.6% (H22) ⇒ 26.6% (H32) 業務: 31.5% (H22) ⇒ 36.2% (H32)    観光: 60.5% (H22) ⇒ 66.9% (H32)
	<b>■外出率: 79.4% (H22) ⇒ 79.4% (H32)</b>
	<b>■バスの利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;路線沿線の人口増加率]</b> 奈良法隆寺線: 156,488人 (H26) ⇔ 奈良市中部・大和郡山市・斑鳩町: 277,769人 (H26)
	<b>■鉄道駅の利用者数(年間乗車人員)[乗車人員の増加率&gt;駅に接続する基幹バス路線沿線市町村の人口増加率]</b> 奈良駅: 6,403,195人 (H25) ⇔ 奈良市中部・奈良市東部・奈良市都祁・山添村: 181,852人 (H25) 近鉄奈良駅: 11,487,343人 (H25) ⇔ 奈良市中部・奈良市東部・奈良市都祁・山添村: 181,852人 (H25) 近鉄郡山駅: 3,723,404人 (H25) ⇔ 奈良市中部・大和郡山市・斑鳩町: 279,359人 (H25)
	<b>■鉄道駅の末端交通の分担率(公共交通(バス+タクシー)と自転車及び徒歩の合計値)</b> 奈良駅: 94.8% (H22) ⇒ 94.8% (H32)    近鉄奈良駅: 94.2% (H22) ⇒ 94.7% (H32) 近鉄郡山駅: 87.4% (H22) ⇒ 87.4% (H32)
<b>■公共交通の利便性満足度: H27からH32にかけて上昇</b>	

### 実施事業

<b>事業①</b> 事業者(工業団地)との連携による駅へのアクセスの検討 実施内容 事業者(工業団地)との連携による大和小泉駅、法隆寺駅及び近鉄結崎駅などへのアクセスを検討 実施主体 大和郡山市、川西町、安堵町 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3 (H27. 6より実施)	<b>事業④</b> 路線運行費補助 実施内容 奈良県基幹公共交通ネットワーク計画に基づき、奈良法隆寺線の路線運行費を補助 実施主体 奈良県 実施効果 地域公共交通の維持 実施期間 H28. 4 ~ H29. 9 (毎年PDCA)	<b>事業⑧</b> 奈良法隆寺線の再編 実施内容 奈良法隆寺線の小泉経由系統を法起寺経由に変更し、全便を需要の多い法起寺経由で運行 実施主体 奈良交通 実施効果 路線の維持確保 実施期間 H30. 春 ~ H33. 3
<b>事業②</b> 観光客の誘客に向けた検討 実施内容 路線バスを使ったモデルコースを設定してPR 実施主体 奈良市、大和郡山市、斑鳩町、交通事業者 実施効果 来訪者数の増加、公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑤</b> ノンステップバスの導入 実施内容 奈良法隆寺線にノンステップバスを導入 実施主体 奈良交通 実施効果 バリアフリー化の促進 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3	<b>事業⑨</b> 天理市コミュニティバス運行事業の見直し 実施内容 天理市コミュニティバスいちょう号を近鉄結崎駅及び仁興町に延伸するとともに、他市町との連携可能性の検討等を実施 実施主体 天理市 実施効果 利便性の向上、公共交通利用者数の増加 実施期間 H29. 4 ~ H31. 3
<b>事業③</b> 近鉄郡山駅周辺地区まちづくりの取組 実施内容 県と市のまちづくり連携協定の取組みとして、近鉄郡山駅周辺の拠点地区としての都市機能、交通処理機能の充実、推進に向けた取組を実施 実施主体 奈良県、大和郡山市 実施効果 バリアフリー化の促進、利便性の向上 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3 (H27. 4より実施)	<b>事業⑥</b> 全国ICカード共通化 実施内容 SuicaやTOICAといった全国共通交通ICカードへの対応 実施主体 奈良交通 実施効果 利便性の向上 <b>済</b> 実施期間 H28. 4	<b>事業⑩</b> バスロケーションシステムの導入 実施内容 奈良交通路線バス全線においてバスの位置情報等をスマートフォン等で提供 実施主体 奈良交通 実施効果 利便性の向上 実施期間 H29. 4 ~ H32. 3
<b>事業⑦</b> 公共交通の利用促進 実施内容 県民、関係市町村や交通事業者等が連携し、公共交通の利用を促進 実施主体 県民、関係市町村、国、奈良県、奈良県警察、交通事業者 実施効果 公共交通利用者数の増加 実施期間 H28. 4 ~ H33. 3		



### 実施事業

事業⑪	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄奈良駅、JR奈良駅、JR新駅、東大寺大仏殿・国立博物館前、県庁前、田中町、春日大社表参道、奈良市庁前、宮跡庭園、薬師寺東口、唐招提寺東口、済生会奈良病院、紀寺住宅前、大和西大寺駅、近鉄郡山駅、法隆寺前、法隆寺門前、イオンモール大和郡山等へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良交通
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑫	バス情報表示装置の設置
実施内容	近鉄奈良駅、登大路バスターミナル、新奈良県総合医療センター、県庁玄関ホール、平城宮跡交通ターミナルへのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県
実施効果	利便性の向上
実施期間	H29. 4 ~ H32. 3

事業⑬	バス情報表示装置の設置
実施内容	法隆寺iセンター等へのバス情報表示装置の設置を検討
実施主体	奈良県、斑鳩町
実施効果	利便性の向上
実施期間	H30. 4 ~ H32. 3

事業⑭	奈良市八条・大安寺周辺地区まちづくり事業
実施内容	県と市のまちづくり連携協定の取組として、八条・大安寺周辺地区においてまちづくり事業を推進、あわせてJR新駅の設置や駅前広場の整備等を予定
実施主体	奈良県、奈良市
実施効果	周辺エリアへのアクセス性の向上、利便性の向上。公共交通利用者数の増加
実施期間	H27. 1 ~ H33. 3

